

平成20年度版 川を題材とした

総合的な学習の時間

活動事例集



平成21年3月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会
岐阜県砂防協会

はじめに

岐阜県河川課及び砂防課では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらい、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成13年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組まれている学校への支援を行ってきました。

平成20年度は、これらのテーマに基づき、環境面では河川内の生物調査、水質調査、美化活動など、また治水面では河川事業や砂防事業の役割の紹介やダムの見学などを実施しました。

この冊子は、平成20年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、川を題材とした学習を進められる方々の参考としていただければ幸いです。

平成21年3月

岐阜県県土整備部河川課長 堂園 俊多
砂防課長 鈴木 猛

目 次

はじめに

目 次

1 支援活動事例	1
1) これまでの支援活動の経緯	1
2) 平成20年度支援活動一覧表	3
岐阜市立本郷小学校	6
各務原市立那加第一小学校	9
羽島市立小熊小学校	12
岐阜市立陽南中学校	15
山県市立いわ桜小学校	18
水門川の川底学習会	20
大垣市立静里小学校	27
養老町立上多度小学校	30
池田町立八幡小学校	33
池田町立温知小学校	36
関市立安桜小学校	39
関市立金竜小学校	41
関市立瀬尻小学校	43
関市立下有知小学校	46
関市立博愛小学校	48
関市立富野小学校	51
関市立武儀中学校	53
美濃市立下牧小学校	55
郡上市立明宝小学校	57
可児市立広見小学校	61
七宗町立神淵小学校	64
白川町立蘇原小学校	66

多治見市立南姫小学校	6 9
瑞浪市立土岐小学校	7 1
瑞浪市立瑞浪小学校	7 4
春日井市立上条小学校	7 7
恵那市立中野方小学校	7 9
恵那市立岩邑小学校	8 1
中津川市立付知北小学校	8 4
中津川市立付知南小学校	8 7
下呂市立小坂小学校	8 9
下呂市立菅田小学校	9 1
下呂市立竹原小学校	9 3
下呂市立小坂中学校	9 5
下呂市立宮田小学校	9 7
下呂市馬瀬地区	9 9
下呂市立下呂中学校	1 0 1
下呂市立小坂中学校	1 0 4
高山市立清見小学校	1 0 7
高山市立宮中学校	1 0 9
飛騨市立古川西小学校	1 1 1

2 支援窓口一覧表	1 1 5
-----------	-------

支 援 活 動 事 例

1)これまでの支援活動の経緯

岐阜県河川課では、次代を担う子供たちに川を題材として身近な環境を体感してもらい、また、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みのあり方を考えるパートナーを育もうと、平成13年度より、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組みされている学校への支援を積極的に行ってきました。

平成13年度

岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村役場職員、有識者、河川管理者等で「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」を開催し、自然学習の結果報告や今後の教育連携のあり方について意見交換し、課題や問題点をまとめ、今後の自然学習を広める方策を検討しました。

平成14年度

学校への支援活動は、8建設事務所、16市町村、小中19校、20学年、実施人数1,000余名、実施回数44回の支援を行いました。また、8月には指導者のための河川水質調査研修会、3月には「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム2003～これでわたしも川博士～」を開催しました。

平成15年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町村、小学校22校、23学年、実施人数1,110名、実施回数48回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を行いました。

平成16年度

学校への支援活動は、10建設事務所、17市町、小中学校18校、26学年、実施人数約1,700名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

平成17年度

学校への支援活動は、11建設事務所、17市町、小中学校22校、27学年、実施人数約1,680名、実施回数35回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

平成18年度

学校への支援活動は、10土木事務所、18市町、小中学校31校、33学年、実施人数約2,050名、実施回数39回の支援を行いました。また、7月には県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課所管分 17市町、小中学校27校、29学年、実施人数約1,960名、実施回数35回

砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約90名、実施回数4回

平成19年度

学校への支援活動は、11土木事務所、19市町、小中学校40校、46学年、実施人数約2,460名、実施回数56回の支援を行いました。また、8月～11月には県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分 6市町、小中学校7校、8学年、実施人数約840名、実施回数15回

河川課所管分 19市町、小中学校29校、34学年、実施人数約1,510名、実施回数36回

砂防課所管分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約110名、実施回数5回

平成20年度

学校への支援活動は、11土木事務所、21市町、小中学校39校、41学年、実施人数約2,650名、実施回数48回の支援を行いました。

砂防課所管分も合算。

【内訳】河川課砂防課合同分 4市町、小中学校4校、4学年、実施人数約620名、実施回数9回

河川課所管分 15市町、小中学校28校、30学年、実施人数約1,550名、実施回数32回

砂防課所管分 6市町、小中学校7校、7学年、実施人数約300名、実施回数7回

2)平成20年度 支援活動一覧表

事務所	No.	支援校名	H19~ 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
岐阜	1	岐阜市立本郷小学校		治水	長良川の川の様子を知る、過去の 水害や治水事業の紹介	11月・5年生
	2	各務原市立那加第一小学校		環境	ゴミ拾いと境川の生物調査	7月・5年生
	3	羽島市立小熊小学校		治水	低地の人々の暮らし 水屋・輪 中堤、水防倉庫に関する説明	11月・4年生
	4	岐阜市立陽南中学校		環境	荒田川の水質について	10月・1年生
	5	山県市立いわ桜小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 土石流の模型実験	11月・5年生
大垣	6	水門川の川底学習会		環境	ゴミ拾いと生物調査	7月・保育園～6 年生
	7	大垣市立静里小学校		環境	杭瀬川の生物調査、ゴミ拾い	6月・4年生
	8	養老町立上多度小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 土石流の模型実験	10月・4年生
揖斐	9	池田町立八幡小学校		環境	杭瀬川の生物調査、水質調査	7月・4年生
	10	池田町立温知小学校		砂防	大津谷災害現場見学、工事体験	12月・5年生
美濃	11	関市立安桜小学校		環境	関川カワゲラウオッチング 水質調査	7月・4年生
	12	関市立金竜小学校		環境	津保川カワゲラウオッチング	7月・4年生
	13	関市立瀬尻小学校		環境	長良川カワゲラウオッチング	6月・4年生
	14	関市立下有知小学校		環境	長良川の生物調査	7月・5年生
	15	関市立博愛小学校		環境	武儀川の生物調査	6月・5年生
	16	関市立富野小学校		環境	小野川の生物調査	10月・5年生
	17	関市立武儀中学校		環境	津保川の生物調査、水質調査	7月、10月 ・1年生
	18	美濃市立下牧小学校		砂防	砂防・土砂災害について学ぶ 砂防施設の現場視察	10月・5年生
郡上	19	郡上市立明宝小学校		環境 砂防	水質調査、生物調査 砂防えん堤、魚道の役割の学習	9、10月・4年生
可茂	20	可児市立広見小学校		治水	可児川の説明、頭首工見学	11月・5年生
	21	七宗町立神淵小学校		環境	神淵川カワゲラウオッチング 水質調査	6月・5,6年生
	22	白川町立蘇原小学校		環境 砂防	水質、生物調査 砂防・土砂災害について学ぶ	6月・6年生

事務所		支援校名	H19~ 継続校	分類	支援内容	実施時期・対象
多治見	23	多治見市立南姫小学校		環境 砂防	ガサガサ探検隊（土岐川）	7月・4年生
	24	瑞浪市立土岐小学校		環境	ガサガサ探検隊（土岐川）	6月・5年生
	25	瑞浪市立瑞浪小学校		環境 砂防	ガサガサ探検隊（万尺川）	7、10月・5年生
	26	春日井市立上条小学校		環境	ガサガサ探検隊（土岐川）	6月・5年生
恵那	27	恵那市立中野方小学校		治水	中野方ダム見学	6月・4年生
	28	恵那市立岩邑小学校		治水 環境	岩村ダム見学、岩村川カワゲラ ウオッチング、水質調査	5、6、7月 ・4年生
	29	中津川市立付知北小学校		環境	付知川カワゲラウオッチング	7月・4年生
	30	中津川市立付知南小学校		環境	付知川カワゲラウオッチング	6月・4年生
下呂	31	下呂市立小坂小学校		環境	山之口川カワゲラウオッチング	6月・4年生
	32	下呂市立菅田小学校		環境	菅田川カワゲラウオッチング	7月・5、6年生
	33	下呂市立竹原小学校		環境 砂防	竹原川カワゲラウオッチング 砂防事業説明	7月・5年生
	34	下呂市立小坂中学校		環境	大洞・小坂・飛騨川カワゲラウ オッチング	6月・1年生
	35	下呂市立宮田小学校		治水	大ヶ洞ダム見学	7月・4年生
	36	下呂市馬瀬地区		環境	馬瀬川カワゲラウオッチング	8月・小、中学生
	37	下呂市立下呂中学校		砂防	御嶽山と湯ヶ峰山について 土砂災害と砂防、キッチン火山	11月・1年生
	38	下呂市立小坂中学校		砂防	御嶽山の火山活動と防災 キッチン火山	2月・1年生
高山	39	高山市立清見小学校		環境	カワゲラウオッチング	7月・4年生
	40	高山市立宮中学校		砂防	土砂災害について	7月・1年生
古川	41	飛騨市立古川西小学校		環境 砂防	カワゲラウオッチング 水質調査、砂防えん堤の講義	7、9、10月 ・4年生

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川第2担当 松本省吾・黒田秀威	内線	336
支援学校名	岐阜市立本郷小学校	Tel.	058-251-0603
担当教員名	川田教頭先生		
対象学年	5年生 45名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 施工業者	
5			
6			
7		【連携内容】	
8		模型の設置及び実験の 実施	
9			
10	10月20日(月) 学習内容の打合せ (学習計画の確認)		
11	11月13日(木) (9:30~11:30) 学習場所:本郷小学校教室及びグラウンド テーマ:「川をもっと知ろう!」 学習内容: 学習を始める前に 水の害から暮らしを守る 実験 水の害を防ぐには		
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾・黒田秀威	内 線	336
支援校名	岐阜市立本郷小学校	担当教員名	川田教頭先生	対象学年	5年生

【事例概要】
 11月13日(木) 9:30~11:30
 「川をもっと知ろう！」
 学習場所：本郷小学校教室及びグランド
 長良川の川の様子をしる。
 過去の水害や治水事業を紹介
 実験 水の害を防ぐには

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 子供たちが理解しやすいように航空写真や石の大きさを示したパワーポイントを作成した。
- ・ 一方的に説明するのではなく、対話形式とすることにより、理解を深めた。
- ・ 使用する上流や下流の写真は、県内土木事務所や市町に依頼して、写真提供をお願いした。
- ・ 校区内に排水機場があるため、排水機場模型を見せることとで、子供達の興味がふくらんだ。
- ・ 校区内に木曽川上流河川事務所があったため、近辺で実施している工事写真などを提供して頂いた。

【子供達の反応】

- ・ 川の工事は治水のことだけでなく、環境のことにも配慮していることに驚いていた。
- ・ 安全に暮らせるためにいろいろな工夫をしていることを感心していた。
- ・ 模型実験で治水工事の必要性を理解していた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 現地の写真や航空写真を使ったパワーポイントで長良川のことがよくわかった。
- ・ 身近に排水機場があり、その仕組みが模型によってよくわかった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 時間配分が心配されたが、余裕を持った時間配分であって、子供達に余裕を持って対応が出来た。
- ・ 身近な話題を提供することで、子供達の興味もわかり理解度も高かったと思われる。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供の目線での資料作成により、人へ説明する上での留意事項を再確認した。



(長良川の様子や過去の災害の説明)
 川の働き、河川用語、治水、長良川の概要などを学びました。



(工事前後の模型実験)
 工事前と工事後の模型により水が溢れる時間や砂の動き方を実験しました。



(環境ブロック)
 環境に配慮した工事に使用している、護岸ブロックの様子を説明しました。

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾・黒田秀威	内 線	336
支援校名	岐阜市立本郷小学校	担当教員名	川田教頭先生	対象学年	5年生

【新聞記事等】

「もっと川を知ろう」
岐阜市立本郷小学校の5年生45人が、岐阜県岐阜土木事務所の出前講座を利用して13日、長良川を題材にした河川工事の必要性などを学んだ。

本郷小に出前講座

愛着を持ってほしい」と児童たちに呼びかけた。

長良川を題材に 「もっと川を」

岐阜土木が実施

だ。
まず教室で「長良川」の源流から下流までの川の様子を、航空写真や河原の石の大きさなどの写真を見ながら学習した後、水害から暮らしを守るための治水方法を学習した。

その後、校庭に川の模型を作り、模型実験を行いながらその様子などを観察した。写真。

同土木事務所河川砂防課の職員は「川の働きや水害の恐ろしさを知ってもらい、より河川に



平成20年11月18日(火) 建通新聞

この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川第2担当 松本省吾	内線	336
支援学校名	各務原市立那加第一小学校	Tel.	058-382-2109
担当教員名	御宿先生		
対象学年	5年生 130名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5	電話にて支援依頼	(人員支援) 各務原市役所 水と緑の推進課	
6	6月6日(金) 那加第一小学校にて支援内容の打合せ ・学習内容の確認(学習場所、学習手順、安全確認等) 電話、メールにて調整	(資材支援) 岐阜振興局環境課	
7	7月3日(木)、8日(火)延期 7月15日(火)総合学習「境川探検隊」 9:20~15:30 学習場所:境川、岩地川(境川と岩地川の合流付近) 今回のテーマ:「境川にはどんな生き物がすんでいるの」 事前説明 川の生き物を調べよう ごみ拾い 結果発表、まとめ		
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾	内 線	373
支援校名	各務原市立那加第一小学校	担当教員名	御宿先生	対象学年	5年生

【事例概要】

7月15日(火)総合学習「境川探検隊」 9:20~15:30
 学習場所:境川、岩地川(境川と岩地川の合流付近)
 今回のテーマ:「境川にはどんな生き物がすんでいるの」

事前説明

川の生き物を調べよう

ごみ拾い

結果発表、まとめ

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 捕まえた生き物の名前を調べられるように、資料を用意した。
- ・ 生徒たちが安全に川に降りられるように、除草を行った。

【生徒達の反応】

- ・ 河川の汚れやゴミについて、興味を持っていた。
- ・ 地域の川の中に、たくさんの生き物が生きていることに驚いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 準備や当日の活動などで細やかな配慮をしていただき、子どもたちはとても楽しく活動することができました。
- ・ 近くの川にあんなにもいろいろな生き物が生息していたこと、あんなにもゴミが捨てられていたことなど、驚くことがたくさんあったようでした。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 毎年、総合学習の支援を行っているため、学校側の主体性があまり見られない。県の立場としてはあくまで支援であるという考え方が必要ではないか。



事前説明

川に入る際の注意事項等の説明注意を行いました。



ごみ拾い

川から上がる際、川の中のごみ拾いを行いました。



川の生き物を調べよ

みんなで捕まえた、境川にすむ生き物を種類ごとに分け、名前を調べました。

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾	内 線	3 3 6
支援校名	各務原市立那加第一小学校	担当教員名	御宿先生	対象学年	5年生

【新聞記事等】

発生した災害事例などを説明し注意を促した。

境川で体験学習

岐阜土木など
小学生130人が参加

岐阜県岐阜土木事務所河川砂防課と各務原市立那加第一小学校は15日、総合的な学習の一環として「境川にはどんな生き物がすんでいるの」をテーマに、境川を探検した。

同小学校の5年生130人が参加し、自分たちにとって身近な川「境川」を使い、石の裏や水草の中で、生き物を捕まえたり、川底・水・植物に触れたら、川岸を探って生き物を捕獲。生き物やそのすみかの様子などを観察し、環境を五感で感じ、川への関心を持ち、川から地域環境学習のヒントを観察だけでなく、川の清掃活動も行い、川の環境へ配慮した行動も行った。

また、生き物の捕獲・観察だけでなく、川の清掃活動も行い、川の環境へ配慮した行動も行った。

河川砂防課の後藤秀夫課長は「川の生物を通して、子供たちが環境に対する理解を深めてもらえたらと思う。その機会を今後も県として増やしていきたい」と感想を述べた。

写真。や意識付けを目的に実施。



平成 20 年 7 月 28 日 建通新聞
この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (岐阜土木事務所)

建設事務所担当者名	河川砂防課 河川第2担当 三宅伸也、藤井孝和	内線	337
支援学校名	羽島市立小熊小学校	Tel.	058-391-3059
担当教員名	大原先生		
対象学年	4年生 49名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5		・水屋所有者(近藤氏)	
6		・ふるさと先生(横山氏、	
7		小熊小元校長、地元	
8	8月19日(火) 実施内容打合せ ・学校との実施目的確認、内容の概略打合せ	在住) ・羽島市役所 ・国土交通省木曾川上流 河川事務所	
9	9月～10月 ・電子メール等により実施計画書の検討、役割分担の決定、各機関への手配		
10	水屋所有者、ふるさと先生、水防倉庫等 排水機場(国土交通省)		
11	11月14日(木)体験学習の実施 学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか テーマ「低地の人々のくらしを守る施設を調べよう」 水屋の見学 ・水害から村を守る取り組みについて説明。 旧輪中堤の見学 ・輪中の役割について説明。 排水機場(逆川排水機場)の見学 ・排水機場の概要、沿革について説明 水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学 ・水防団の役割、水防道具等の説明 排水機場(境川排水機場)の見学 ・排水機場の施設内容および効果について説明の後 実際にポンプのエンジンを起動	【連携内容】 近藤氏 ・水屋など、昔の水害防 止対策についての説明 横山氏 ・輪中の役割、逆川排水 機場の効果について 説明 岐阜土木 ・逆川排水機場の効果に ついて説明 羽島市役所 ・水防団の役割、水防活 動時に使用する用具 類の説明 国土交通省 ・境川排水機場の役割に ついて説明	
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	三宅伸也、藤井孝和	内 線	3 3 7
支援校名	羽島市立小熊小学校	担当教員名	大原先生	対象学年	4年生

【事例概要】
 体験学習の実施
 学習場所:羽島市足近町地内(近藤邸水屋)ほか
 テーマ「低地の人々の暮らしを守る施設を調べよう」
 水屋の見学:水害から村を守る取り組みについて説明。
 旧輪中堤の見学:輪中の役割について説明。
 排水機場(逆川排水機場)の見学:排水機場の概要、沿革について説明
 水防倉庫(羽島市小熊町地内)の見学:水防団の役割、水防道具等の説明
 排水機場(境川排水機場)の見学:排水機場の施設内容および効果について説明の後、実際にポンプのエンジンを起動

【工夫した点、苦労した点】
 ・学習場所の選定に際し、子供達の関心を高められるよう、できるだけ身近である小熊校区内にあるものを見学するよう考慮した。また、説明者は地元在住で子供達になじみの深い「ふるさと先生」を主とした。

【子どもたちの反応】
 ・自分たちの住んでいる地域でも昔はたくさん洪水があり、堤防や命塚を作り避難していたことを知り、昔の人々は大変だったんだなあと感じた。
 ・周りより少し高くなっているところなど、今も輪中の跡が残っていることに驚いた。
 ・水屋の石垣が2m60cmもあり、こんなところまで水が来たのかと怖くなった。
 ・水防倉庫にはいろんな道具があること、水防団の人たちが毎年訓練を行っているという話を聞き、私たちの暮らしを守ってくれているんだと思った。
 ・排水機場の規模の大きさに驚いた。こういった大きな施設で水害がなくなってきたこと、自分たちの暮らしが守られていることを実感した。

【学校関係者からの意見】
 ・実際に見て話を聞くことにより内容をよく理解でき、有意義な活動であった。
 ・普段見られない排水機場や水防倉庫の見学、関係者の話などによりこういった施設によって自分たちの暮らしが守られていることが実感できた。
 ・地域講師の方々にも経験でわかりやすく語っていた。

【今後の課題・課題への提案】
 ・内容を盛り込みすぎて時間が足りなかった。見学地の絞り込み等が必要。

【担当者として得たもの】
 ・この授業において見学した施設は子供達にとって普段目にするものがない施設ばかりであり、高い関心が感じられました。



《水屋の見学》
 昔の人々の、水害から身を守る取り組みについて学びました。



《水防倉庫の見学》
 水防団の役割について学びました。



《境川排水機場の見学》
 排水機場の効果について学びました。

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	三宅伸也、藤井孝和	内 線	3 3 7
支援校名	羽島市立小熊小学校	担当教員名	大原先生	対象学年	4年生

【新聞記事等】



平成20年11月15日(土) 中日新聞 岐阜版

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。



平成20年11月19日(水) 岐阜新聞 岐阜版

この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。



近藤達さん（足近町）から水屋の説明を受ける児童ら

11月14日、小熊小学校4年生の児童約50人が総合的学習の一環で野外学習を行い、「低地の人々のくらしを守る施設」について学びました。

この授業は、岐阜土木事務所への支援により、河川と地域環境について考えて欲しいと実施しているものです。

児童らは、足近町に残る水屋や排水機場、防水倉庫などを見学。低地に暮らした人々の生活や知恵を学び、河川環境を守りたいせつさを学びました。

平成20年12月(NO.582) 広報 はしま

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川第2担当 松本省吾・藤井孝和	内線	337
支援学校名	岐阜市立陽南中学校	Tel.	058-274-0055
担当教員名	葛西先生		
対象学年	1年生 5名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 特になし	
5			
6		【連携内容】 特になし	
7			
8	8月28日(木) 学習内容相談 (学習計画の確認)		
9			
10	10月30日(木) (15:30~16:30) 学習場所:岐阜土木事務所 3東1会議室 テーマ:「荒田川の水質について」		
11	学習内容:生徒が荒田川の水質に関して疑問に思っている 事への回答をとおり、生徒の河川への関わりを学んでもら う。		
12			
20/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾・藤井孝和	内 線	337
支援校名	岐阜市立陽南中学校	担当教員名	葛西先生	対象学年	1年生

【事例概要】

10月30日(木) 15:30~16:30

「荒田川の水質について」

学習場所：岐阜土木事務所 3東1会議室

生徒が荒田川の水質に関して疑問に思っている事への回答をとおり、生徒の河川への関わりを学んでもらう。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 生徒が社会経験を積むことに配慮し、こちらへの講師依頼や質問事項の確認を、生徒達にさせたこと。
- ・ 一方的に説明するのではなく、対話形式とすることにより、理解を深めた。
- ・ 航空写真等を使用し、イメージをつかみやすいようにした。

【子供達の反応】

- ・ 航空写真に驚いていた。
- ・ 水質改善のためにいろいろな工夫をしていることを感心していた。
- ・ 数値等の説明については、イメージが湧かないようで、理解していないように感じられた。

【学校関係者からの意見】

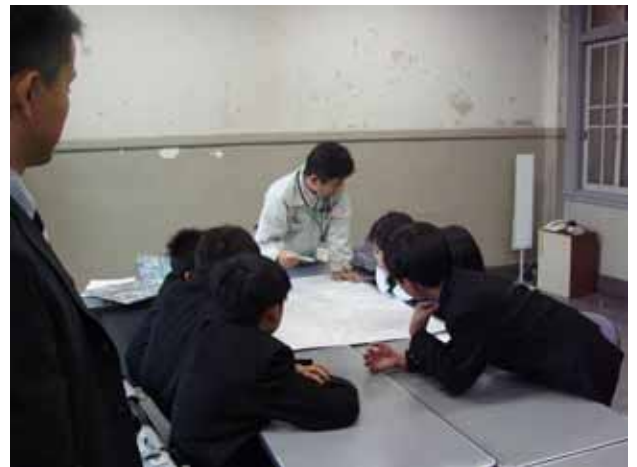
- ・ 実務者からの回答は、生徒達にとって何よりの教材になったとのこと。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 時間配分を生徒達の集中力に配慮しながら決める必要がある。

【担当者として得たもの】

・ 子供の目線での資料作成により、人へ説明する上での留意事項を再確認した。



(学習風景)

資料等により生徒達の質問に回答しました。

所 属	河川砂防課 河川第2担当	氏 名	松本省吾・藤井孝和	内 線	337
支援校名	岐阜市立陽南中学校	担当教員名	葛西先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】



総合学習を受け入れ

岐阜土木 陽南中学校5人の

岐阜市立陽南中学校の1年生5人が10月30日、後、「自分たちが河川の岐阜県岐阜土木事務所河川砂防課を訪れ、「新荒川砂防課を訪れ、「新荒川川の浄化導水事業」に

これは、陽南中学校が総合学習の一環で取り組んでいるもので、各クラス5〜6人の班を作り、班ごとに興味のある題材について学習するもの。岐阜土木事務所の職員から、新荒田川では長良川の水をポンプアップして新荒田川へ放流、川水の希釈を行って浄化してい

る説明を受けると生徒たちには感心。そして、川をきれいにするために何ができるかを県職員らと一緒に考えた。河川砂防課の後藤秀夫課長は「川について勉強してほしい」と期待を寄せた。

平成20年11月5日(水) 建通新聞

この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (岐阜 土木事務所)

土木事務所担当者名	瀬瀬友宏	内線	333
支援学校名	山県市立いわ桜小学校	Tel.	0581-55-2050
担当教員名	奥田 先生		
対象学年	5年生 20名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 山県市役所 建設課	
5			
6		【連携内容】	
7		小学校との連絡調整 当日の学童輸送	
8			
9			
10/28	いわ桜小学校に砂防体験学習会の開催について意向打診		
11/17	担当教諭及び教頭とスケジュール協議		
11/25	いわ桜小学校の教室にて学習会 通常砂防 西江谷現場見学会		
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	瀨瀬友宏	内 線	3 3 3
支援校名	山県市立いわ桜小学校	担当教員名	奥田 先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

砂防ってなーに

土砂災害と砂防事業について学習

模型による土砂災害の体験

砂防堰堤施工現場の見学

雨量強度について疑似体験

砂防クイズ

【工夫した点、苦労した点】

時間雨量強度について、現場でジョウロを利用して疑似体験。

簡易雨量計(ペットボトル)により雨の降り方と雨量強度を確認し、かさをさして雨量強度を体験

小学生でも理解しやすいような言葉を使つての説明。

楽しく覚えられるように、クイズ形式で学習をした。

【子供達の反応】

模型実験での体験に歓喜していた。

かさをさしての体験時、最初は遠慮がちであったが、後半は積極的になっていた。

現場での、作業者への質問も積極的であった

砂防クイズでは、遊び感覚で全員参加でき、楽しそうに答えを考えていた。

【学校関係者からの意見】

現場作業、測量に興味を示している子もいて、とても貴重な体験ができて良かった。

【今後の課題・課題への提案】

楽しく学んだことは、記憶に残りやすいと思うので、何が良かったかをアンケートなどで集計し、今後の活動内容の選定に役立てたい。

【担当者として得たもの】

皆が理解できるように説明することの難しさ、学ぶ姿勢の大切さを改めて感じた。



土石流の模型実験に興じる。



雨量強度の疑似体験



砂防堰堤についての質問

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 藤原 雅司	内線	373
支援学校名	水門川の川底学習会	Tel.	0584-73-1111
担当教員名	主催:大垣土木事務所、共催:水門川クリーン作戦実行委員会		
対象学年	水門川周辺の保育園～小学6年生 101名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 水門川クリーン作戦実行委員会	
5		【連携内容】 市民グループによる水門川クリーン作戦の一環	
6	6月19日(木) 実行委員会立ち上げ、前年の反省 6月26日(木) 実行委員会との「清掃範囲」打合せ 「宣伝チラシ」打合せ		
7	7月10日(木) 実行委員会との「担当係分け」打合せ 7月11日(木) 実行委員会との現地安全確認 7月24日(木) 実行委員会との「最終チェック」打合せ 7月26日(土) 野外学習 8:00～9:45 学習場所:水門川(新大橋東～貴船神社) テーマ「第7回 水門川クリーン作戦 ～ 水門川の川底学習会 ～」 水門川にどんな生き物がすんでいるかな? 水門川クリーン作戦(ゴミ拾い) 水門川にどんな生き物がすんでいたかな? 結果発表会(発表及び感想)		
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	3 7 3
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	-	対象学年	保育園～6年

【事例概要】水門川クリーン作戦関連イベント
 実施日 7月26日(土) 8:00～9:45 野外学習
 学習場所:水門川(貴船広場～新大橋上流間)
 テーマ「水門川の川底学習会」
 水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
 水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)
 水門川にどんな生き物がすんでいたかな？
 結果発表会(発表及び感想)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 参加者が当初予定していたものより、倍近く増えグループ分けに苦労した。11 班に分け、指導スタッフを各グループに1名以上配置し、安全管理、スムーズな進行に配慮した。
- ・ 当日の数十人もの飛び込み参加にも、対応した。
- ・ 水門川クリーン作戦との連絡調整や事前打ち合わせを約1ヶ月にわたり実施した。
- ・ 結果発表では、熱中症がおこらないように、簡潔な説明に心がけた。

【子供達の反応】

- ・ 体長約 30cm の外来種であるミシシッピ赤ミミ亀を捕獲して興奮していた。しかし、外来種であるが故の処理方法を知って心を痛めていた。
- ・ 川の清掃や水生生物の採取に積極的に取り組んでいた。
- ・ 親子参加が多く、終始楽しく活動していた。

【関係者からの意見】

- ・ この様な参加型のイベントにより、川で遊ぶことの楽しさ、川を守ることの大切さを知る機会を提供し、川が身近な存在になるようにしていきたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 年間を通して最も高温な時期の開催であり、熱中症には十分配慮する必要がある。

【担当者として得たもの】

- ・ 川での活動を通じて、川の現状や生き物の観察をすることができた。
- ・ 子供たちの生物に対する好奇心がとてもあることがわかった。仕事としてこのような場を提供出来て、やりがいを感じた。



水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
 アユ、オイカワ、ウナギ、ヨシノボリ、ボラ、モクズガニ、スズキ、マシジミなどを見付けました。



水門川クリーン作戦(ゴミ拾い)
 水門川クリーン作戦の参加者と一緒に、空き缶や自転車など川に捨てられたゴミを拾いました。



結果発表会(発表及び感想)
 今回は外来種であるミシシッピ赤ミミ亀が捕獲され、外来種のありかたについても学ぶことができました。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	3 7 3
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	-	対象学年	保育園～6年

【新聞記事等】



平成20年7月27日(日) 岐阜新聞 西濃地域版

この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。



平成20年7月27日(日) 中日新聞 西濃版

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	3 7 3
支援校名	水門川の川底学習会	担当教員名	-	対象学年	保育園～6年

【新聞記事等】



水都の象徴大掃除
大垣・水門川 小学生は生物調査

水都・大垣の夏を彩る「水まつり」(31日～8月3日)を前に、市街地を流れる水門川の大掃除が26日、市民ボランティア約700人が参加して実施された。約600㎡の間をせき止め、捨てられた自転車や空き瓶などを拾い上げ、子どもたちはどんな生物がいるかを調べた。

(高岡喜良)

大垣市の象徴でもある水門川。中学生もそろって参加。1時川の「クリーン作戦」は、恒例の年間行事となり、市内の台分の廃棄物やごみを集めた。川底からは自転車3台、ビデオデッキ、タイヤ、空き缶などが見つかった。川底からは自転車が3台、ビデオデッキ、タイヤ、空き缶などが見つかった。川底からは自転車が3台、ビデオデッキ、タイヤ、空き缶などが見つかった。

子どもたちが捕らえた水門川の魚。アユ、スズキなど10種類が確認された。大垣市本町1丁目。水門川の川底にある廃棄物やごみをさらうボランティアの人たち。大垣市高砂町1丁目。

平成20年7月27日(日) 朝日新聞 岐阜版

この記事は、朝日新聞社の許諾を得て転載しています。



700人が4トン拾う
水門川クリーン作戦

大垣市中心部を流れる水門川で26日、小学生からお年寄りまで約700人が参加して「水門川クリーン作戦」が展開された。今年で7回目。市民の力で水門川は年々浄化されており、同時に行われた川底学習会では、アユやウナギ、ヨシノボリなどの生息が確認された。市中心部の活性化を図るNPO法人などでつくる実行委員会の主催。愛宕神社(岐阜町)から四季の広場(馬場町)までの四季の路沿い2・1キロで清掃した。可燃物、不燃物ともに各2トンのごみが、川の中などから拾い上げられた。

途中の貴船広場前(東外側町)から八幡神社前(西外側町)までの約600㎡は川をせき止め浅瀬にし、県大垣土木事務所主催の川底学習会も開かれた。小・中学生らがタモでアユやウナギ、ボラ、スズキ、オイカワなど10種類の生物を捕獲した。ペットとして飼育していたのを捨てたと思われる大きなカメも見つかった。

担当者たちは「水がきれいになっていく証拠。いろんな生き物が住みやすくなるように、川にごみを捨てないようにしよう」と、子どもたちに呼びかけた。

(子林光和)

川の中に入ってごみを拾い上げる参加者—大垣市の水門川で

平成20年7月27日(日) 毎日新聞 岐阜版

この記事は、毎日新聞社の許諾を得て転載しています。

第7回「歩いて観よう 水門川クリーン作戦」

水門川の川底学習会

岐阜県大垣土木事務所

平成20年9月 発行

はじめに

7月26日(土) 大垣市の中心部を流れ、市のシンボルリバーでもある水門川において、「第7回 歩いて観よう 水門川クリーン作戦」が行われました。このクリーン作戦は、水門川の環境改善、市民の皆さんの環境意識の向上を目的として、「めざせ！ハリンコが泳ぐ水門川」を合言葉に、水門川クリーン作戦実行委員会の主催により、普段は入ることのできない水門川をせき止め、浅瀬にした川で清掃活動を行うものです。行政、企業、ボランティア団体、一般市民、小中学生らが参加しました。

岐阜県大垣土木事務所は、クリーン作戦の一環として、市内の小中学生を対象に「水門川の川底学習会」を行いました。

川底学習会は、普段入ることができない貴船広場から新大橋間を利用して、水門川にどんな生き物や植物が生息しているか調査したり、川の中にどんなゴミがたくさん見られるか調査する学習会であり、調査した生き物や植物の結果から水門川の環境に気づき、子供たちの意見や想いを今後の川づくりに反映するものであります。

当日は、天候に恵まれ、予定を上回る小学生たちが集まり楽しく学習することができました。その様子をお伝えします。

学習メニュー 「水門川の川底学習会」

- ・ 水門川にどんな生き物がすんでいるかな？
- ・ 水門川クリーン作戦
- ・ 水門川にどんな生き物がすんでいたかな？
- ・ 学習会

・水門川にどんな生き物がすんでいるかな？

グループに分かれて、どんな生き物がすんでいるのかを調べました。

子どもたちは、浅瀬で逃げ隠れする生き物たちを足でガサガサと探りながらタモ網に追い込んだり、逃げ出した魚を追いかけたりしていました。

魚いるかな～



・水門川クリーン作戦

魚を捕ったあとはみんなで川のゴミ拾いをしました。缶ジュースやペットボトルが多かったですね。自転車みたいな大きなゴミも出てきました。



・どんな生き物がすんでいたかな？

子どもたちの捕まえた生き物から、水門川にどんな生き物がすんでいたのかを調べました。

今回は、アユ、ウナギ、オイカワ、モズクガニ、アメンボ、マシジミ、テナガエビ、ヨシノボリ、ボラ、スズキなどの生き物が捕れました。

・学習会

捕った魚を集めてみんなで学習会を開きました。

こども達は「水門川は汚いと思っていたけど、こんなにいろいろな生き物がいるとは思わなかった。」「ウナギのような生き物はどこでどういきているの？」などなど、意見や質問が多く出ました。

こんなお話ししました...

「スズキやボラは海の魚なのにこの水門川にいるということは海と水門川が繋がっている証拠です。」「今回もたくさんのゴミを集められました。地球を守ることってとても大きくて大変そうだけど、このふるさとの川をきれいにして守ることで地球を守ることに繋がるんだよ。」「水門川は世界中探してもここにしかない川です。みんなで大切に守っていきましょう。」

最後に...

天候に恵まれ、無事に「水門川の川底学習会」を開催することができました。

一年に一度このように川に実際入って体験することが本当に大切で子どもたちにとっては川を見つめ直す良い機会になったことと思います。

学習会や安全管理に協力して下さった多くのボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。

どんな生き物がいたかな



水門川で見られた生き物たち



ウナギ



アユ



オイカワ



モズクガニ



アメンボ



マシジミ



テナガエビ



ヨシノボリ



ボラ



スズキ

問い合わせ先

岐阜県大垣土木事務所 河川砂防課 (担当: 藤原)

TEL: 0584-73-1111 (内線: 373) FAX: 0584-82-4960

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 藤原 雅司	内線	373
支援学校名	大垣市立静里小学校	Tel.	0584-91-1010
担当教員名	後藤先生 勝見先生 富田先生		
対象学年	4年生 88名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 大垣市役所 治水課	
5	5月28日(水) 静里小学校にて支援内容の打合せ	【連携内容】 大垣市役所 ・除草	
6	6月13日(金) 静里小学校及び実施予定箇所にて学習内容の詳細打合せ(学習場所、学習手順、安全確認等)	・安全管理	
	6月24日(火) 実施予定箇所にて、子供達の作った仕掛けを設置	・各班の指導	
	6月25日(水) 野外学習 9:00~11:40 学習場所:杭瀬川(杭瀬川公園内 塩田橋下) テーマ「川とわたしたちの暮らし ～ 川にすむ生き物を見つけよう ～」 川のお話 仕掛け上げ(魚とり器) 川にすむ生き物を見つけよう! 川に感謝しよう(ゴミ拾い)		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	藤原 雅司	内 線	3 7 3
支援校名	大垣市立静里小学校	担当教員名	後藤、勝見、富田先生	対象学年	4 年

【事例概要】

6月25日(水) 9:00～11:40 野外学習

学習場所:杭瀬川

テーマ「川にすむ生き物を見つけよう」

川のお話

仕掛け上げ(魚とり器)

川にすむ生き物を見つけよう！

川に感謝しよう(ゴミ拾い)

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 深みや早瀬などの危険な場所を事前に確認し、当日はポールや赤テープで柵をつくり安全管理に努めた。
- ・ 各班に指導者を付け、安全管理に努めた。

【子供達の反応】

- ・ 川がこんなに汚れているとは思わなかった。そして臭いがあるのもわかった。
- ・ いつも見ている川なのに、中に入ると思った以上にたくさんのゴミがあり、驚いていた。
- ・ 身近な杭瀬川をもっときれいにしたいという意見が多かった。
- ・ こんなにたくさんの生き物がとれるとは思っていなかったようで、その種類にも驚いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 子供たちは今回の活動を通して、川の汚れに大変驚いており、“なんでこんなに川が汚れているのか。きれいにしていきたい。”という意見を殆どの子が持ちました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 川に入って安全に活動できる水辺が少ないため、例年同じ場所で開催している。そのため、水草が少なくなり魚が減っている気がする。
- ・ 今回は安全上指定したエリアに対して生徒の数が多かった気がする。川に入るのを2回に分ける等の検討も必要。

【担当者として得たもの】

- ・ 自分自身こんな方法で魚を捕まえることは未体験だった。子供達には一生思い出に残る体験になったであろうし、その手助けが出来て良かった。



川にすむ生き物を見つけよう

ナマズ、ヌマエビ、ウキゴリ、カマツカ、カワニナ、ハグロトンボのヤゴなどを見付けました。



川に感謝しよう

ビン、ビニール袋などたくさんのゴミを拾いました。



生き物の種類分け

みつけた生き物を種類ごとにわけて、杭瀬川にどんな生き物がいたか調べました。

所属	河川砂防課 河川担当	氏名	藤原 雅司	内線	373
支援校名	大垣市立静里小学校	担当教員名	後藤、勝見、富田先生	対象学年	4年

【新聞記事等】



川を探索楽しいね

大垣の杭瀬川 静里小児童ら体験学習

大垣市静里小学校の習に取り組んだ。四年生約九十人が二十 体験学習は、大垣市五日、学校近くの杭瀬 木事務所が地域の小中川で水生生物の体験学 学校の総合学習を支援

しよう、二〇〇一年度から続けている。児童たちは水着姿になつて順番に川へ入り、タモを使って川底や川岸を探索。ヤゴやドジョウ、カワナなどが引っ掛かると、お互いに見せ合つてはしゃいでいた。

学習を終えた後は、川への感謝の気持ちを込め、空き缶やビニールなどのごみを拾った。

飯田英さん(か)は「ごみが多くてびっくりしたけど、たくさん生き物を捕まえて楽しかった」と話していた。(河郷丈史)

川の生き物を探す児童ら—大垣市の杭瀬川で

平成20年6月26日(木) 中日新聞 西濃版

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

88人が杭瀬川で生き物を探検

大垣・静里小児童

大垣市立静里小学校の4年生88人が25日、学校近くの同市静里町地内の杭瀬川で「杭瀬川にすむ生き物探検」をした。NPO法人・森と水辺の技術研究会(岐阜市)の会員や県市職員が指導した。児童らは杭瀬川の歴史などについて説明を受けたあと、さっそく水着姿で川の中へ。タモを使って川底や川岸で生き物探し。捕まえると、指導者に見せて観察した。約1時間でヤゴやアメンボウ、ス



シエビ、ドジョウ、フナなど10種類以上を見つけた。探検後は川に感謝を込めてごみ拾い。川の中や河原に捨てられた空き缶やビニールごみなどを拾い集めた。

【子林光和】

見つけた生き物を観察する児童たち

大垣市の杭瀬川で

平成20年6月26日(木) 毎日新聞 岐阜版

この記事は、毎日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (大垣 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 砂防担当 川瀬 樹一	内線	374
支援学校名	養老町立上多度小学校	Tel.	0584-32-1604
担当教員名	若原 愉香 先生		
対象学年	4年生 22名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 ・養老町役場 ・国土交通省 越美山系砂防事務所	
5			
6	6月6日(金) 上多度小学校と打合せ(1回目)	【連携内容】	
7	・小学校と砂防に関する総合学習の実施について打合せを行い、担当教員から内容、実施方法等の要望を伺った。また学習会を10月7日(火)に決定した。	・養老町役場 学習現地まで移動する際の移動手段(バス)の手配。	
8		・国土交通省 越美山系砂防事務所 「土石流対策施設の説明模型」の貸出。	
9	9月18日(木) 上多度小学校と打合せ(1回目)		
	・総合学習の内容、実施方法、スケジュール(案)を説明し、担当教員に承諾を得た。		
10	10月7日(金) 9:30~11:50		
11	「砂防」をテーマに、教室内及び小倉谷砂防施設を活用し砂防に関する総合学習を実施。		
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	川瀬 樹一	内 線	3 7 4
支援校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	若原 先生	対象学年	4 年

【事例概要】

小学校の教室内で土砂災害の種類や特徴、身の守り方及び地域を守る砂防施設の役割について説明。

その後、学校の横を流れる小倉谷護岸工や上流の砂防堰堤を見学し、土石流対策施設模型を使って砂防施設の必要性や効果について学習した。

【工夫した点、苦労した点】

小学校中学年でも土砂災害の種類や特徴を理解できるように説明するため、アニメーションや土石流等の様子を納めたビデオ映像を活用したり、小倉谷の砂防施設を間近に見ながら、興味を持って学習が出来るように工夫した。

また、総合学習の題材「地域の環境」に合わせ、「扇状地、天井川、湧水、ハリヨ」といったキーワードに関連させて説明した。

【子供達の反応】

土砂災害を説明するアニメーションやビデオ映像には、興味を持って見ていた。特に土石流の映像は何度も再生して見ていた。

現地にて「土石流対策施設模型」を使って砂防施設の効果を興味を持って実験していた。

【学校関係者からの意見】

子供たちは、自分たちの住んでいる地域がどんな危険があるかを学習しました。また多くの時間、費用、人の手をかりて自分たちが守られているかを知りました。

今後も、継続して砂防学習をお願いしたい。

【今後の課題・課題への提案】

養老山地には土砂災害の恐れがある地域に位置する小学校が他にもあり、このような総合学習を展開できるとよい。

【担当者として得たもの】

砂防事業におけるソフト施策の対象は大人と考えがちであったが、小学生4年生でも十分に土砂災害・砂防について理解することができたようであり、子供達も対象と考えることができるようになった。



教室にてパワーポイントを使って、土砂災害や砂防について学習



現地にて砂防堰堤の見学



「土石流対策施設模型」を使って砂防施設の必要性自ら実験し確認

報告様式土木事務所名 (**大垣 土木事務所**)

所 属	河川砂防課 砂防担当	氏 名	川瀬 樹一	内 線	374
支援校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	若原 先生	対象学年	4年

【新聞記事等】

ケーブルテレビ コミュニティチャンネル 撮影状況



平成20年10月13日～19日 放送

C C n e t 養老局
養老町行政情報番組 『Yoro ちつく』

報告様式

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 梶浦隆司	内線	463
支援学校名	池田町立八幡小学校	Tel.	0585-45-3106
担当教員名	大口先生、安田先生		
対象学年	4年生 75名 2クラス		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
20/6	八幡小学校で野外学習内容詳細打ち合わせ ・ 野外学習の日程確認 ・ 野外学習、野内学習の実施内容確認		【機関・団体名】 漁業協同組合
20/7	7月4日(金) 野外学習実施 午前 9:30~12:00 1組(37名)、午後 13:30~16:00 2組(38名) 学習場所 : 杭瀬川(八幡小学校裏) テーマ : 「守ろう杭瀬川の自然」 学習メニュー 杭瀬川にすんでいる生き物を予想してみよう。 生き物を捕まえよう。 捕まえた生き物を調べよう。 捕まえた生き物から水のきれいさを判定しよう。		【連携内容】 漁業協同組合 ・ 魚類採捕 の同意

所 属	河川砂防課	氏 名	梶浦 隆司	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	大口先生、安田先生	対象学年	4年

【事例概要】

7月4日(金) 9:30~16:00 野外学習

学習場所:杭瀬川

テーマ「守ろう杭瀬川の自然」

学習メニュー

- 杭瀬川にすんでいる生き物を予想してみよう
- 生き物を捕まえよう
- 捕まえた生き物を調べよう
- 生き物から水のきれいさを判定しよう

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 深みなどの危険な場所を事前に確認し、赤テープで囲み立ち入らないようにした。
- ・ 生き物が多く見つかるように、午前と午後の実施場所を分けた。
- ・ 子供たちがより積極的に参加できるよう、考える時間や発表する時間を多くとった。

【子供たちの反応】

- ・ 生き物の捕まえ方がよくわかった。
- ・ たくさんのトンボのヤゴが捕まって驚いた。
- ・ 生き物から川の大切さがよくわかった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 捕まえた生き物の名前や見分け方を現地で教えたこと、子供たちはとても喜んでいました。
- ・ 来年も是非お願いしたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 野外学習は天候の影響を受けるため、実施日選定にゆとりを持って企画する必要がある。

【担当者として】

- ・ 生き物を捕まえる以外に、自然の大切さを教えるために、もう一工夫してあげたい。



《生き物を捕まえよう》
タモ網を使って、水生生物を捕まえています



《捕まえた生き物を調べよう》
捕まえた生き物の名前(種)を調べています



《捕まえた生き物を調べよう》
捕まえた生き物の名前(種)を調べています。

所 属	河川砂防課	氏 名	梶浦 隆司	内 線	463
支援校名	池田町立八幡小学校	担当教員名	宮川先生、高木先生	対象学年	4年

【新聞記事等】



平成20年7月8日(火) 岐阜新聞 西濃版
この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (揖斐 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 馬場博文	内線	340	
支援学校名	池田町立温知小学校	Tel.	0585-45-3166	
担当教員名	横山亮道 教頭先生			
対象学年	5年生 約90名			
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関	
20/4	平成 20 年 12 月 1 日(月)		【機関・団体名】	
5	10:00	温知小学校 出発	揖斐建設業協会 第一建設(株)	
	10:10	池田町中央公民館 出発		
6	10:30	建設業協会 到着(揖斐川町)		
7	10:30~	災害について『さぼうってなあに』 質疑応答		
8	11:15~	昼食		
9	12:00~	揖斐建設業協会 出発 大津谷災害現場へ移動・現場見学 3班に分かれる(1クラス約30名)		
10	12:45~	願成寺砂防工事現場へ移動・現場見学		
11	13:00~	レベル・光波による工事体験会 3班に分かれる(1クラス約30名)		
	14:30	池田町中央公民館 到着		
12	14:45	温知小学校 到着		
21/1				【連携内容】
2				
3				

所 属	河川砂防課	氏 名	馬場博文	内 線	340
支援校名	池田町立温知小学校	担当教員名	横山亮道教頭 先生	対象学年	5年

【事例概要】

H20年12月1日(月)10:00~14:45

『砂防説明会』実施

実施場所:

- 説明会・・・揖斐建設業協会
- 現場見学・・・大津谷災害現場
願成寺砂防工事現場
- 工事体験会・・・レベル・光波・重機

【工夫した点、苦労した点】

児童の皆さんに災害の恐ろしさ・砂防工事の必要性をより深く理解していただくため、ただ説明をただだら行うのではなく、プレゼン形式の説明会・実際に現場に足を運んでもらう見学会・工事機器や重機に直接触れ合える体験会を行いました。

現場見学会では安全面を考慮し、かつ効率よく現場の状況を見てもらうため30名ほどの3グループに分かれ、担当者が各グループ2~3名がつけました。

【子供達の反応】

春の遠足で大津谷公園に来て楽しい時間を過ごした児童にとって、9月の災害後の大津谷は土砂が流れ込み川が土石流や流木で埋めつくされ、同じ場所とは思えない程の変わりようだったようです。

重機や光波には男女を問わず大変興味を持ってくれました。

【学校関係者からの意見】

理科の『水の働き』の単元で災害についての学習をちょうどすすめていましたが、教科書上だけではなく、こうして実践的な学習を体験でき、大変有意義でした。

【今後の課題・課題への提案】

児童をとおして砂防説明会を実施させていただきましたが、是非ご家庭に砂防工事の必要性を伝えて頂き、地域の皆様のご理解を賜りたいです。

【担当者として得たもの】

公共事業に携わる技術者として、今後も地域の皆様のため常に責任を持って施工していこうと痛感いたしました。



《説明会》
建設業協会にて災害についての説明
『さぼうってなあに』・質疑応答




《現場見学会》
大津谷災害現場の見学
春にみた大津谷とは変わり果てています。



《記念写真》
児童の皆さんが描いてくれた絵の前で記念撮影

所 属	河川砂防課	氏 名	馬場博文	内 線	340
支援校名	池田町立温知小学校	担当教員名	横山亮道教頭 先生	対象学年	5年

【新聞記事等】



災害の怖さ実感 児童が現場視察

池田町温知小の五年生が一日、九月の集中豪雨で大量の土砂が流れ出した同町大津谷を見学した。写真。

児童らは土砂で埋まっている川や、木々がなぎ倒されたままのがけを見て回り、災害の恐ろしさを実感。案内役の揖斐建設業協会の会員から「全部元通りにするにはあと二、三年はかかる」と説明を受けた。

また、工事現場で機械を使った測定を体験。工事の手法や、防災への取り組みを理解を深めた。(岡本太)

外国人求職者へ 市役所内に窓口

大垣公共職業安定所（ハローワーク大垣）は一日、大垣市役所内に外国人求職者の相談窓口を設置。初日から、大勢の外国人求職者が訪れた。

相談員と日系ブラジル人通訳が常駐し、既存の生活相談窓口と一括して労働や雇用保険手続きなどの相談を受け付ける。相談日は毎月一金曜の午前九時から午後五時まで。

同様の窓口は国の相談窓口強化の方針を受けて、外国人が多く住む全国二十六都市に設けられる。(中平雄太)

子が生け花展示

兼名町の「兼名伝統文化いけばな教室」に通う子どもたちが、十一月二十九、三十の両日、同町の中央公民館に作品を展示した。

同教室は、兼名小

平成20年12月 2日(火) 中日新聞
 この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立安桜小学校	Tel.	0575-22-5421
担当教員名	森先生		
対象学年	4年生 106名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員 関市役所土木課	
5			
6	6日(金) 小学校で総合学習の意向について打合せ 12日(木) 電話にて日程再調整 18日(水) 小学校で当日の詳細な時間割を調整 30日(月) 電話にて延期の連絡。日程再調整	【連携内容】 講師・調査指導 監視・調査補助	
7	10日(木) 午前 水生生物調査実施 場所:関川(関市桜木町～平和通地内) 内容:調査(カワゲラウォッチング) 水質調査(CODテスト) 流速測定 結果とりまとめ		
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立安桜小学校	担当教員名	森先生	対象学年	4 年

【事例概要】

7月10日(木)午前 総合学習

場所:関川

内容:総合学習「関川を調べる」の一環
調査(カワゲラウォッチング)
水質調査(CODテスト)、流速測定
結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

児童数が多くグループに分かれても24グループとなり、細やかな支援が行えなかった。

ペットボトルのセルビンを仕掛けたが、成果は無かった。残念。

【児童達の反応】

積極的に川に入って、いろいろな生き物を探ることができた。魚巣ブロックの中などもしっかり調査ができた。

【学校関係者からの意見】

- ・「関川がきれいな川かどうか」をすむ虫や魚の様子から調べるといように、目的がはっきりしていたので、とても意欲的に取り組んだ。
- ・カワゲラウォッチングが1つの機会となって夏休みの研究で長良川を上流から下流まで調査する児童がいたことは嬉しかった。
- ・探した昆虫や魚の名前が自分たちで分からない時、教えてもらったのでありがたかった。
- ・調査用紙に班毎にまとめる時間がもう少しあるとよかった。

【今後の課題・課題への提案】

雨により延期を余儀なくされた。
人数に相応した指導者数を手配する必要がある。

【担当者として得たもの】

千藤学芸員は15年前に同箇所でも調査をなされており、その時と比較して多種多様になっているそうで、都市部の環境の変化を実感した。



調査方法の説明

川のきれいさを事前に予想した



水生生物調査実施中



採捕した生物の同定、記録中

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立金竜小学校	Tel.	0575-28-2303
担当教員名	奥田先生		
対象学年	4年生 118名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6	6日(金) 小学校で総合学習の意向について打合せ 18日(水) 小学校で当日の詳細な時間割と実施内容を調整 25日(水) 電話にて延期の連絡。日程再調整		
7	1日(火) 電話にて延期の連絡。日程再調整 7日(月) 電話にて延期の連絡。日程再調整 14日(月) 午前 水生生物調査実施 場所:津保川(関市小屋名地内) 内容:調査(カワゲラウォッチング) 結果とりまとめ		
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立金竜小学校	担当教員名	奥田先生	対象学年	4 年

【事例概要】

7月14日(月)午前 総合学習

場所:津保川

内容:総合学習「地域の環境を調べる」の一環

調査(カワゲラウォッチング)

結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

児童数が多くグループに分かれても24グループとなり、細やかな支援が行えなかった。

ペットボトルのセルビンを仕掛けた。成果はあった。

【児童達の反応】

20分程かけ、歩いて集合してくれたにもかかわらず、元気に川に入って、いろいろな生き物を探ることができた。天然アユやナマズなどの珍客に歓喜した。

【学校関係者からの意見】

- ・ 120人分の道具を準備してくださり、どの子も喜んで活動することができた。
- ・ 全員でカワゲラウォッチングを体験し、水の汚れを実感することで、個人の課題に結びつけやすかった。
- ・ 津保川で活動したことにより、千藤先生を通して他の学校(上之保小)と交流することができた。
- ・ 津保川の川原はちょっと狭く、最後にまとめの活動をする時が大変だった。長良川だと川原も広く活動しやすいかもしれない。(暑さ対策が必要だが)

【今後の課題・課題への提案】

降雨により水位が下がらず、再三に渡り延期した。人数に相応した指導者数を手配する必要がある。暑さ対策で橋の下で同定作業を行ったが、場所が狭く満足の行く作業ができなかった。

【担当者として得たもの】

平坦な河川であるが、川岸や中洲のヨシの下は、多様な生物の生息域になっている。



調査方法の説明

川のきれいさを事前に予想した



水生生物調査実施中



水生生物調査実施中

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立瀬尻小学校	Tel.	0575-22-3120
担当教員名	林先生		
対象学年	4年生 83名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4	学校が主体で調査計画を立案され、土木事務所は調査に同行した。	【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6	10日(火) 小学校で総合学習の意向について打合せ 13日(金) 小学校で千藤学芸員による水生生物調査方法等の指導学習に同行 17日(火) 午前 水生生物調査実施 場所:長良川(関市池尻地先) 内容:調査(カワゲラウォッチング) 結果とりまとめ		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立瀬尻小学校	担当教員名	林先生	対象学年	4 年

【事例概要】

6月17日(火)午前 総合学習

場所:長良川

内容:総合学習「長良川はかせになろう」の一環
調査(カワゲラウォッチング)
結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

学校側で計画を立案されており、土木事務所は調査に同行し、調査の補助をさせていただいた。

【児童達の反応】

千藤学芸員から、事前に調査方法や過去の調査結果についての説明授業を受けていたため、興味を持って取り組んでいた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 事前に川にすむ水生昆虫を調べ、予備知識を持って臨むことが出来た。
- ・ 調査の方法を担当の先生から教えていただいたので、当日スムーズに調査ができた。
- ・ 多くの方にサポートしていただきながら調査できたので安全に観察ができた。
- ・ 子どもの質問に分かりやすく答えていただけた。名前が分からない水生昆虫をその場ですぐに教えていただけたので、調査がスムーズにできた。
- ・ 子どもたちは水質が良くないことを調査で知り、川をきれいにしなくてはならないと意識するようになった。その後の総合的な学習の取りかかりとなり、有意義な活動になった。

【今後の課題・課題への提案】

晴れの天気が続き、河川水位も低く、予定通りに学習ができた。

本格的な梅雨前に行うのが良いと思われる。

【担当者として得たもの】

中洲による分流箇所での調査だったが、アジメドジョウなどもみられ、調査箇所としてはよい場所であった。事前に調査手法、生物の種類を学習しておくことは、当日の調査においても効果がある。



調査方法の説明

川のきれいさを事前に予想した



水生生物調査実施中



採捕した生物の同定、記録中

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立瀬尻小学校	担当教員名	林先生	対象学年	4 年

【新聞記事等】

長良川の生き物観察
関市 瀬尻小児童 カワゲラ見つけ歓声

関市小瀬の瀬尻小学校四年生八十三人が、同市池尻の長良川で、水生生物を観察する「カワゲラウォッチング」を行った。

総合学習「長良川博士になろう」の一環。校区内を流れる長良川への理解を深めようと毎年行っている。

県や市の職員、県博物館学芸員ら五人の指導で、児童は川底や石の下などを注意深く探した。カワゲラやアシ



メドシヨウ、カワヨシノボリなどの生物が見つかる歓声を上げ、資料を手に名前や特徴などを調べていった。見つかった生物の種類からは、美しい川であることが分かった。

最後に、県河川砂防課の職員は「こみを川に捨てないようにしてこれからも美しい川であり続けるよう見守ってください」と児童に呼び掛けた。

(山田雄大)

捕まえた水生生物を観察する児童—関市池尻、長良川右岸

平成 20 年 6 月 17 日(火) 岐阜新聞

この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立下有知小学校	Tel.	0575-22-2029
担当教員名	粥川先生		
対象学年	5年生 81名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6	11日(水) 小学校で総合学習の意向について打合せ 19日(木) 電話にて、実施の可否について調整 23日(月) 電話にて延期の連絡。日程再調整		
7	1日(火) 電話にて延期の連絡。日程再調整 16日(水) 午前 水生生物調査実施 場所:長良川(美濃市志摩地先) 内容:調査(水生生物全般) 結果とりまとめ		
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立下有知小学校	担当教員名	粥川先生	対象学年	5 年

【事例概要】

7月16日(水)午前 総合学習

場所:長良川

内容:総合学習「長良川の生き物を調べる」

調査(水生生物全般)

結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

魚種などを児童が自ら判断できるよう、シートを作成して、グループ単位に配布した。

【児童達の反応】

川岸から魚の群れが見えるため、魚に集中しがちでしたが、水生昆虫もそれなりに見つけることができた。思い思いの場所で元気よく採捕ができた。

【学校関係者からの意見】

近くにある長良川ですが、遊びに行ける環境がなく、大変残念に思っていました。

河川砂防課様より提案があり、機会に恵まれたと大変喜びました。保護者の中には、長良川は危険なので、行かせたくないという意見もありましたが、当日は、安全管理に気を配っていただき、学校としても安心して見ていられました。子供らは、水生昆虫よりは魚に興味を持っていましたが、ウシモツゴの飼育をしていたので、それも当然かと思われます。(河川環境を総合学習で取り上げるのは、3学期になってから)

今まで一度も川で泳いだことがない、川に入って遊ぶ機会がなかったという子もいましたので、この行事は大変好評でした。ありがとうございました。

【今後の課題・課題への提案】

降雨により水位が下がらず、再三に渡り延期した。

安全を考慮し、分派川で行ったが、レキ間やヨシ柳などの物陰が少なく、採捕には難しい場所だった。

【担当者として得たもの】

これまで行った中で、カワゲラをはじめてみた。さすが長良川でした。



調査方法の説明

調査方法の実演。投網の実演も行う



水生生物調査実施中



採捕した生物の同定、記録中

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立博愛小学校	Tel.	0575-46-2129
担当教員名	松久先生		
対象学年	5年生 39名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6	10日(火) 小学校で総合学習の意向について打合せ 13日(金) 電話にて、実施の可否について調整 17日(火) 午後 水生生物調査実施 場所: 武儀川(関市武芸川町高野地先) 内容: 調査(水生生物全般) 結果とりまとめ		
7			
8			
9			
10			
11			
12			
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立博愛小学校	担当教員名	松久先生	対象学年	5 年

【事例概要】

6月17日(火)午前 総合学習

場所:武儀川

内容:総合学習「ふるさとを知る」の一環

調査(水生生物全般)

結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

魚種などを児童が自ら判断できるよう、シートを作成して、グループ単位に配布した。

【児童達の反応】

調査を進めていく中で、いろいろな生き物がみつきり、川全体に広がってより多くの生き物を探ることができた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 水生生物調査では、天候にも恵まれ予定通り行うことができた。道具の準備や活動の流れなど、学校側の要望を取り入れて計画を立てていただいたことで、児童が興味・関心をもって意欲的に活動することができありがたかった。
- ・ 調査に詳しい方から直接指導・支援していただき、児童の疑問や質問にもその場で詳しく答えてくださるので、児童の意欲が継続した。
- ・ 外部の方を講師に招き活動する形態は、児童も緊張感をもって学習に参加することができ、よい機会となった。

【今後の課題・課題への提案】

晴れの天気が続き、河川水位も低く、予定通りに学習ができた。本格的な梅雨前に行うのが良い。

【担当者として得たもの】

多くの種類の生物が確認され、よい河川環境にあることが確認できた。



調査方法の説明

調査方法の実演。投網の実演も行う



水生生物調査実施中



採捕した生物の同定、記録中

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立博愛小学校	担当教員名	松久先生	対象学年	5 年

【新聞記事等】

関市博愛小学校の五年生三十八人が、県美濃土木事務所職員や水生生物調査の専門家ら六人を講師に、近くを流れる武儀川の水生生物調査をした。

総合的な学習の一環。児童たちは採取方法などを学び、タモを手で川へ。捕った生物をたらいに移して、講師の話に基づき分類し、ヨシノボリやヒラタドROMシ、ヒゲナガカワトヒケラなど二十一種類を確認した。

同事務所職員は「水は比較的きれいで生物も多く、県内では環境が良い川に入る」と総括。棚橋優大君は「武儀川にたくさん種類の魚や虫がいて、初めて知った」と話していた。(田中高隆)

魚や虫 探せば近くに
関・博愛小 武儀川で生物調査



講師から生物の採取方法を教わる児童たち＝関市武芸川町の武儀川で

中日新聞 平成20年6月19日(木)

この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 山賀 博文	内線	322
支援学校名	関市立富野小学校	Tel.	0575-29-0005
担当教員名	江口先生		
対象学年	5年生 14名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 帝国建設コンサルタント	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6			
7			
8			
9			
10	16日(木) 小学校で総合学習の詳細について打合せ 22日(水) 午前 水生生物調査実施 場所:小野川(関市西神野)		
11	内容:水生生物調査 水質調査(CODテスト)		
12	結果とりまとめ		
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	山賀博文	内 線	3 2 2
支援校名	関市立富野小学校	担当教員名	江口先生	対象学年	5 年
<p>【事例概要】</p> <p>10月22日(水)午前 総合学習</p> <p>場所:小野川</p> <p>内容:川を題材とした総合学習の一環</p> <p>水生生物調査</p> <p>水質調査(CODテスト)</p> <p>結果とりまとめ</p> <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <p>調査の直前に安全に調査できるよう除草を実施</p> <p>【生徒達の反応】</p> <p>調水がやや冷たかったがみんな一生懸命に採集にとりこんでいた。取りまとめの時間が少し足りないようであった。</p> <p>【学校関係者からの意見】</p> <p>毎年、「小野川学習」についてご支援をいただき、たいへんありがたく思っています。身近な河川ですが、最近の子ども達は川に直接触れる機会も少なく、毎年、子どもにとって貴重な体験活動として位置づいています。普段見ているだけでは気がつかない魚や昆虫などが、実際に採集をするとたくさん見付き、ふるさとの川を見直し意識づけるよい機会になっています。今年も、きれいな川に生息する水生生物が見つかり、まだまだきれいな川と言えることが分かりました。子ども達は、この体験をまとめ、川をきれいに保つために、自分達にできる事は何かと考えていました。</p> <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <p>除草の場所により生物が逃げたしまったと考えられる箇所があったため、範囲と除草のタイミングを工夫するよ良かった。調査箇所で比較的深い箇所があるので、児童の動きに注意が必要である。</p> <p>【担当者として得たもの】</p> <p>水生生物が実際に川のどのような箇所にすんでいるのかが観察できた。</p>					
			調査方法の説明		
					
			水生生物調査実施中		
					
			採捕した生物の同定、記録中		

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 上谷 伸二	内線	322
支援学校名	関市立武儀中学校	Tel.	0575-49-3062
担当教員名	村山先生		
対象学年	1年生 22名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4		【機関・団体名】 県博物館 千藤学芸員	
5		【連携内容】 講師・調査指導	
6	24日(火) 中学校で総合学習の意向について打合せ		
7	4日(金) 電話にて延期の連絡 11日(金) 午前 水生生物調査実施 場所:津保川(関市中之保若栗地先) 内容:調査(カワゲラウォッチング) 水質調査(COD テスト) 結果とりまとめ		
8			
9			
10	3日(金)6時間目 総合的な学習の時間 教諭(理科)による授業 カワゲラウォッチングでわかった美しい川と森林との 関係を知り、豊かな森林を保つために大切なことに気づく。		
11			
12	総合的な学習の時間で学んだ「武儀の自然と文化」について、もっと調べたいと思ったことを調べていく。(課題解決学習) 2月、新聞にまとめる		
21/ 1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	上谷 伸二	内 線	3 2 2
支援校名	関市立武儀中学校	担当教員名	村山先生	対象学年	1 年

【事例概要】

7月11日(金)午後 総合学習

場所:津保川

内容:総合学習「ふるさとを知る(森林効果)」の一環
 調査(カワゲラウォッチング)
 水質調査(CODテスト)
 結果とりまとめ

【工夫した点、苦労した点】

降雨により水位が上がり、延期を余儀なくされた。
 当日現地に釣客がみえ、調査へ協力していただいた。

【生徒達の反応】

時節もよく、調査中に川に流されている(?)生徒がいたが、河床の岩が滑ることや着衣水泳が難しいことなどの学習もできたのではないかな。

【学校関係者からの意見】

- ・ 専門家を招いての授業だったので、とても学習がスムーズに進められた。
- ・ 津保川がとても美しい川だということを知ることができた。
- ・ 前に学習した森林とつなげて川の水質について考えることができた。

【今後の課題・課題への提案】

当日の雨だけでなく、その後の水位上昇により実施日の延期が生じた。夏場は比較的流量が多いので、生徒の動きに注意が必要である。

【担当者として得たもの】

川つき林が多いためか、他と比較して生物の量が多く感じられた。



調査方法の説明

川のきれいさを事前に予想した



水生生物調査実施中



採捕した生物の同定、記録中

報告様式

土木事務所名 (美濃 土木事務所)

土木事務所担当者名	木村 昌洋	内線	0575-33-4011(内線 324)
支援学校名	美濃市立下牧小学校	Tel.	0575-33-1117
担当教員名	五十川 幹恵 先生		
対象学年	5年生 14名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 美濃市役所	
5			
6		【連携内容】 見学地までのバス手配	
7	7/4 下牧小学校 教頭先生と初回うちあわせ		
8	7/23 資料(砂防副読本)提出		
9	8/26 日程調整		
10	10/2 最終打ち合わせ 10/17 総合学習 実施		
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	木村 昌洋	内 線	3 2 4
支援校名	美濃市立下牧小学校	担当教員名	五十川 幹恵 先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

10月17日(金) 9:30～11:15 総合学習
 学習場所:下牧小学校、庄司洞えん堤
 テーマ「自然災害と砂防について学ぼう」
 スライドを用い、教室にて授業
 庄司洞えん堤見学
 記念植樹

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 下見を行い、危険箇所に立ち入らないようロープを設置する等、安全に見学できるよう配慮した。
- ・ 土砂災害の実録映像、CG 動画、アニメをスライドに盛り込み、児童が興味を示すよう心掛けた。
- ・ 下牧小は本年度で統廃合されるため、記念に残るよう記念植樹を行った。

【子供達の反応】

- ・ 事前に配布した砂防副読本に要点をメモするなど、積極的に学ぼうとする姿勢が見られた。
- ・ 地すべりの実録映像では声をだしておどろくなどしており、土砂災害の恐ろしさが伝わった。
- ・ えん堤の見学では、普段みることのない施設に興味をもって見学していた。周辺の施設(ふとん籠等)にも関心をもつ児童もあった。

【学校関係者からの意見】

子供達には「砂防」という言葉すらなじみがなかったが、実際の映像や動画をもり込んだ授業と実物の砂防えん堤を見学したことにより、土砂災害を身近に捉えることができた。今回の学習で砂防えん堤がなんのためにあり、私たちの生活にどのような恩恵があるのか子供達も理解できたと思う。

【今後の課題・課題への提案】

今回は安全のために個々の児童にヘルメットを用意していただき見学時には着用してもらったが、現場見学ではほかにも服装や履物などにも注意し、事前に打ち合わせておくことが必要である。

【担当者として得たもの】

プレゼンには見た目にインパクトのある動画が非常に有用であることを感じた。内容をわかりやすく伝えるために効果的なスライド作りを心掛けたい。



教室で土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について学びました。



砂防えん堤 現場見学



記念撮影

報告様式

土木事務所名 (郡上 土木事務所)

土木事務所担当者名	長尾 篤	内線	343
支援学校名	郡上市立明宝小学校	Tel.	0575-87-2132
担当教員名	簗島先生		
対象学年	4年生 22名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 郡上市 学校教育課	
5			
6	吉田川 遡上調査委託発注 (総合学習打合)	【連携内容】 どの小学校で実施するか要望を確認。	
7	郡上市 学校教育課と打合せ (電話)		
8	8 / 27 (水) 明宝小学校と打合せ (小学校にて)		
9	9 / 25 (木) 総合学習 (1日目) 砂防えん堤の役割、魚道の役割について (教室にて) 上坂本砂防えん堤魚道見学		
10	10 / 31 (水) 総合学習 (2日目) 水質浄化実験 児童による発表 (水質調査、水生生物、魚道観察)		
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	長尾 篤	内 線	3 4 3
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	簗島先生	対象学年	4

【事例概要】

9月25日(木)

8:30～9:30 (教室) 明宝小学校
『土石流と砂防えん堤の役割、魚道について』説明
9:50～11:20(現地調査) 吉田川(上坂本魚道)
魚道内の観察、水質調査、水生昆虫調査

10月31日(水)

8:30～11:00 (教室) 明宝小学校
児童による現地調査発表会
水質浄化ろ過実験

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 落差のある砂防ダムや魚道において児童が怪我をしないように**安全面**に特に気を配りました(トラロープ トラ柵設置)
- ・ 今年は二日目においても、教室で水質浄化のろ過実験を行い**体験学習**として工夫しました。

【子供達の反応】

- ・ きれいな水が飲めることが、川の水質と関係があることが分かった。
- ・ 魚を捕ることができて嬉しかった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 今後予算確保するのは難しいとは思いますが是非この活動を続けてほしい。
- ・ 魚道・砂防えん堤を間近で見学することができ子供達も貴重な体験学習ができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 一部業務委託しましたが事務所職員だけでは特に安全管理が難しい点。
- ・ 現地調査は水温(魚類移動期)からみて7月(夏休み前)がベストですが、学校との調整で結局9月実施になった点。

【担当者として得たもの】

- ・ 子供達の魚道砂防えん堤に関する感想を聞くことができ有意義な時間となりました。また子供達の作ったトラップで実際に魚を捕獲することができ非常に楽しい時間でした。



《魚道内の観察》魚道内の魚を観察しました。アマゴ、カジカが見られました。



《河川観察》石裏の水生昆虫を採取しました。



《水質浄化実験》教室で実験しました。

所 属	河川砂防課	氏 名	長尾 篤	内 線	3 4 3
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	養島氏	対象学年	4

【新聞記事等】

明宝小4年生が魚道を調査

郡上市の上坂本砂防えん堤

カワゲラなど 昆虫も観察 **地域の水環境を理解**

郡上市明宝の明宝小学校四年生二十二人が二十五日、総合学習の授業で、同所のせせらぎ街道料金所近くの上坂本砂防えん堤魚道を訪れ、水生生物や水質の観察、調査を行った。

(森嶋哲也)

同魚道は高さ十一メートルの砂防ダムを遡上(そじょう)する魚のため、二〇〇二(平成十四)年に造られた長さ百二十メートルの二連らせん構造の魚道。観察、調査は地域の水環境を学ぼうと、郡上土木事務所の協力で実施した。

児童は三班に分かれ、箱眼鏡を使って魚道の中の観察や投網の見学、水生昆虫調査、簡単な分析器を使った名古屋市内の河川や、長良川下、中流との水質の比較に交代で取り組んだ。

魚道ではアマゴやカジカが見られ、カワゲラやヒラタカゲロウなど水生昆虫を観察し、児童は魚道や水環境への理解を深めた。沈めておいたペットボトルで手作りした仕掛けにカジカが入っており、大喜びしていた。

同小学校では十月下旬にこの日の学習の発表会を行う。

日 察 席 学 子 十 犬

《岐阜新聞 9.26(金) 中濃版》
この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

所 属	河川砂防課	氏 名	長尾 篤	内 線	3 4 3
支援校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	養島氏	対象学年	4

【新聞記事等】



《中日新聞 9.26(金) 中濃版》
この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	立沢 友宏	内線	323
支援学校名	可児市立広見小学校	Tel.	0574-62-1551
担当教員名	近藤 奈都子先生		
対象学年	5年生		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 可児市	
5			
6		【連携内容】 資材準備 安全管理	
7			
8			
9			
10	9月29日(月)可児市役所にて学習内容の打合せ		
11	11月5日(水)9:30~11:00 学習場所:可児川 ふるさと川公園		
12	テーマ「流れる水のはたらき」 川のお話を聞こう 可児川の様子を観察 頭首工の様子を観察		
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 3
支援校名	可児市立広見小学校	担当教員名	近藤 奈都子先生	対象学年	5 年生

【事例概要】

11月5日(水) 9:30~11:00

学習場所:可児川

テーマ「流れる水のはたらき」

川のお話を聞こう

可児川の様子を観察

頭首工の様子を観察

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 常日頃、専門用語で会話をしているので、いかに分かりやすく簡単な言葉で表現することが難しかった。

【子供達の反応】

- ・ 普段、何気なく遊んでいた身近な川にも、災害を防ぐための護岸工事が行われていたり、農業用水として利用できるように工夫されたりしていることがよく理解できた。
- ・ 実際に川を見ながらの説明であったため、川と対比しながら話を聞くことができた。子どもたちは、たくさんメモをとって聞いていた。
- ・ 質問コーナーの時間をとっていただけのおかげで、授業で学習しても分からなかったことを実際に聞くことができ、疑問が解決できた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 授業では、川に関する写真や映像資料で調べ学習を行ってきたが、自分たちの身近にある川を実際に見学しながら、「川」の様々なはたらきについて学習することができ、とても分かりやすかった。写真では分からない「川」の姿を知ることができた。ぜひ来年度もこのような機会があるとありがたい。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 小学校側の求める学習内容とのマッチングを図るため、打ち合わせ回数を増やすなどする必要である。

【担当者として得たもの】

- ・ 川とは何かを説明する上で、改めて川とは何かを勉強する機会を得た。



所 属	河川砂防課	氏 名	立沢 友宏	内 線	3 2 3
支援校名	可児市立広見小学校	担当教員名	近藤 奈都子先生	対象学年	5年生

広見小学校からの感想文



報告様式

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤田 克年	内線	325
支援学校名	七宗町立神淵小学校	Tel.	0574-46-1210
担当教員名	5年担任 石丸真希先生 6年担任 山田佳生子先生		
対象学年	小学校5年生 11人 小学校6年生31人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 七宗町役場	
5		【連携内容】 会場準備 安全管理	
6	6月3日(火)神淵小学校にて学習内容の打合せ		
7	6月25日(水) 10:30~12:00 学習場所:神淵川 テーマ「かわげらウォッチング」		
8	6月27日(金) 10:45~11:30 学習場所:神淵小学校理科室 テーマ「川の話について」		
9	神淵川って、どんな川? 水生生物を調べてどうでしたか?		
10	川の水は多くのことに利用 水の汚れを調べよう! 美しい川づくりのために~私たちのできること~		
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	藤田 克年	内 線	3 2 5
支援校名	七宗町立神淵小学校	担当教員名	石丸、山田先生	対象学年	5・6年生

【概要】

6月25日(水) 10:30~12:00 屋外学習

学習場所:神淵川

テーマ「かわげらウォッチング」

6月27日(金) 10:45~11:30 屋内学習

学習場所:神淵川・神淵小学校理科室

テーマ「川の話について」

神淵川って、どんな川？

水生生物を調べてどうでしたか？

川の水は多くのことに利用

水の汚れを調べよう！

美しい川づくりのために～私たちができること～

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 前日までに下見を行い、危険箇所や内容等の確認を行った。また、児童数が多いこともあり、当初行う予定であった場所が増水しており、安全管理に不安があったため、場所を変更したこと。

【子供達の反応】

- ・ はきれいな川だと思っていたけれど、ものすごくきれいというわけではないと分かった。でも、県の方の話聞いて、川の水としては十分きれいだと分かった。
- ・ 神淵川は、ぼくたちがよく遊ぶ川だし、総合的な学習の時間でも勉強する川です。いつまでもきれいな川であるように気をつけていきたいです。

【学校関係者からの意見】

- ・ 川での調査だけでなく、理科室でパックテストの実際を見せていただいた。落ち着いた場所で説明を聞き、川の汚れや調査方法についてよく理解できる内容だった。実際の調査の前に、この学習を位置づけると効果的であると感じます。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 管内、県内においても神淵川の水質は、サワガニ、ヘビトンボ等が生息しておりトップレベルと思われるが、カワニナがいたことによって「きたない水」と思う児童が多々いた。難しいと思われるが例えば、「少きれい水」とか水質階級名の表現を変更できないかと思った。

【担当者として得たもの】

- ・ 子どもたちと一緒に水質調査を行い、改めて神淵川がきれいな水であると共有できました。また、日常生活排水等が川を汚す原因になることを気づいてくれたこと。



調査しよう

6年生、5年生に水性生物のいる場所を教えながら調査していました。



水の汚れを調べよう

川にお茶等が混じると水質が悪化することを学びました。



川話を聞こう

神淵川についてどんな川が学びました。

報告様式

土木事務所名 (可茂 土木事務所)

土木事務所担当者名	藤田 克年	内線	325
支援学校名	白川町立蘇原小学校	Tel.	0574-73-1007
担当教員名	山口 先生		
対象学年	小学校6年生 34人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 白川町役場 飛騨川漁業組合	
5	5月28日(水)蘇原小学校にて学習内容の打合せ	【連携内容】 会場準備 安全管理	
6	6月9日(月) 8:45~11:00 学習場所:黒川および白川林業センター		
7	テーマ「川と砂防のお話」 黒川って、どんな川? 魚道は何のため?		
8	水生生物を調べよう! 美しい川づくりのために~私たちのできること~ 土砂災害を防ぐには		
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	藤田 克年	内 線	3 2 5
支援校名	白川町立蘇原小学校	担当教員名	山口 先生	対象学年	6 年生

【概要】

6月9日(月) 8:45~11:00 屋内外学習

学習場所:黒川および白川林業センター

テーマ「川と砂防のお話」

黒川って、どんな川？

魚道は何のため？

水生生物を調べよう！

美しい川づくりのために～私たちのできること～

土砂災害を防ぐには

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 前日までに下見を行い、危険箇所や内容等の確認を行った。また、児童数が多いこともあり、当初2会場で行う予定であったが、梅雨の時期での開催であり、増水等安全管理に不安があったため、1会場にて行ったこと。

【子供達の反応】

- ・ はじめて見た魚・生物がいて楽しかった。
- ・ 黒川の水質を守るため川を汚さないようにしたい。
- ・ 山で大雨が降ると土石流が起きて危ないのですぐ避難したい。

【学校関係者からの意見】

- ・ 自分たちが住む地域を流れる黒川にどんな生物がいるのか、自分達の目で確かめることができ、子供たちにとっても楽しいいい体験になりました。
- ・ ふだんは、何気なく使っている水をきれいに保つには、いろいろな工夫の仕方があることが、よくわかったようです。帰ってから、「これからは、もっと水を制約したい。」とは「油は絶対に流さないようにしたい。」と感想を話してくれた子がたくさんいました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 管内、県内においても黒川の水質は、サワガニ、ヘビトンボ等が生息しておりトップレベルと思われるが、カワニナがいたことによって「きたない水」と思う児童が多々いた。難しいと思われるが例えば、「少しきれいな水」とか水質階級名の表現を変更できないかと思った。

【担当者として得たもの】

- ・ 子どもたちと一緒に水質調査を行い、改めて黒川がきれいな水であると共有できました。また、日常生活排水等が川を汚す原因になることを気づいてくれたこと。



川と砂防の話进行こう
黒川についてどんな川か学びました。



調査しよう
なれている子もなれていない子も楽しんで調査しました。



川の生物について考えよう
水生生物の特徴について学びました。

所属	河川砂防課	氏名	藤田 克年	内線	325
支援校名	白川町立蘇原小学校	担当教員名	山口先生	対象学年	6年生

【新聞記事等】

平成20年6月12日(木) 建通新聞

この記事は、建通新聞社の許諾を得て転載しています。



蘇原小学校からのお礼のお手紙



報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 古澤隆弘、小川紀代	内線	319
支援学校名	多治見市立南姫小学校	Tel.	0572-27-6078
担当教員名	天野 先生		
対象学年	4年生 70名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/ 4			
5			
6			
7	7月10日 ガサガサ探検隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	古澤隆弘、小川紀代	内 線	319
支援校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	天野 先生	対象学年	5年生

【事例概要】
 7月10日(水) 13:30～15:00

姫川ガサガサ探検隊
 場所：多治見市姫町
 テーマ「水生生物の観察」
 川の話の聞こう
 砂防とは
 砂防施設の概要
 ガサガサ探検

【工夫した点、苦労した点】
 子供たちが元気だったため、子供の監視等に気を配った。

【子供達の反応】
 生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。
 魚の種類や生態についても興味・関心が非常に高く、様々な質問が出ました。

【学校関係者からの意見】
 子供たちは地域の河川環境について学ぶ良い機会となった。

【今後の課題・課題への提案】
 子供たちに分かりやすく説明する。

【担当者として得たもの】
 子供たちの目線からの意見を聞くことによって、河川の成り立ちや施設について日頃気を配らないようなことに気づかされた。



【川の話の聞こう】
 川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探検】
 護岸工事を行った場所での水生生物調査。



【水質調査】
 透視度や Ph 等の水質を調査しました。

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 武藤良幸、森田泰弘	内線	319
支援学校名	瑞浪市立土岐小学校	Tel.	0572 - 68 - 4185
担当教員名	西尾 先生		
対象学年	5年生 100名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4			
5			
6	6月19日 花の苗植(土岐川)	退職公務員連盟 (瑞浪支部土岐分会) 桔梗幼児園	
7	6月26日 ガサガサ探検隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、森田泰弘	内 線	319
支援校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	西尾 先生	対象学年	5年生

【事例概要】
 土岐川 水辺の楽校
 場所：瑞浪市土岐町

6月19日(火) 9:30~10:30
 テーマ「花の苗植」
 「水辺の楽校」整備について、その目的と概要を生徒たちに説明。
 花の苗植

6月26日(木) 10:00~11:00
 テーマ「ガサガサ探検」
 魚類調査の方法、護岸の必要性等について生徒たちに説明した。
 ガサガサ探検

【工夫した点、苦労した点】
 川の流れが速い箇所があり、生徒たちの安全に気を配った。

【子供達の反応】
 流れの速さに構わず、元気に魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】
 子供たちが河川環境と護岸について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】
 水辺の楽校の概要や、講評、護岸の説明などは屋外で行われるため、天候に左右されやすい。雨天や風の強いときへの対応を準備しておくこと、聞き取りやすく伝える方法など検討の余地があると思った。



【川の話を知ろう】
 川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【ガサガサ探検】
 水辺の楽校で整備した落差工や魚道の付近のガサガサ探検を行いました。



【水辺の楽校 花の苗植】
 水辺の楽校を活用する親水イベントとして、小学生と幼稚園児が一緒になって苗を植えました。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、森田泰弘	内 線	319
支援校名	瑞浪市立土岐小学校	担当教員名	西尾 先生	対象学年	5年生

【新聞記事等】

第3種利用施設認可

岐

瑞浪の「水辺の楽校」美しく



花の苗を植える土岐小5年の児童と桔梗幼児園児—瑞浪市土岐町、土岐川河川敷

サルビアやベゴニア、380本

退職公務員連盟瑞浪支部土岐分会は十九日、「見ると一緒に、同園前の土岐川河川敷の「水辺の楽校」に花の苗を植えた。(平田成範)

水辺の楽校は、環境学習の場として、土岐川沿いの一帯にわたって多治見土木事務所が整備した広場。同分会では二年前から、ごみ拾いなどを行っている。

参加したのは分会のメンバーや児童、園児ら約百五十人。小雨が降る中、最初に同メンバーが苗の植え方を指導。児童が園児の手をとり、サルビアやベゴニア、マリーゴールドの苗約三百八十本を植えた。

同分会では、今後も地域の人の協力を得て、笹を育てたり野鳥の巣箱を木にかけるなど、自然と触れ合う環境をつくっていききたいとしている。

退職公務員連盟
瑞浪支部土岐分会

平成20年 6月19日(木) 岐阜新聞 東濃版

この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 森田泰弘、小川紀代	内線	319
支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	Tel.	0572 - 68 - 4535
担当教員名	前野 先生		
対象学年	5年生 140名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4			
5			
6			
7	7月 1日 ガサガサ探検隊(万尺川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10	10月17日 ガサガサ探検隊(万尺川)	多治見市土岐川観察館	
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	森田泰弘、小川紀代	内 線	319
支援校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	前野 先生	対象学年	5 年生

【事例概要】
 7月 1日(火) 10:30～15:30
 10月17日(金) 9:30～11:00

万尺川ガサガサ探検隊
 場所：瑞浪市土岐町
 テーマ「水生生物の観察」
 砂防とは
 砂防施設の概要
 ガサガサ探検

【工夫した点、苦労した点】
 生徒たちが飽きないように分かりやすく説明するのが難しかった。

【子供達の反応】
 生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】
 子供たちに河川・砂防環境と護岸について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】
 事前の説明、ガサガサ探検、講評などの時間配分を管理する。
 生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】
 自然環境の学習は何よりもまず現場に入って観察することが第一だと思った。
 また、生徒の注意を集めて分かりやすく楽しく説明する方法を考えるべきだと思った。



【川の話进行こう】
 川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【講評】
 捕獲した魚を観察し、魚の名前や生態について講評しました。

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	森田泰弘、小川紀代	内 線	319
支援校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	前野 先生	対象学年	5 年生

【新聞記事等】

生き物調べて 川の環境学ぶ
瑞浪小児童

瑞浪市の瑞浪小学校五年生約百四十人が一日、学校近くを流れる同市北小田町の万尺川で生き物を捕まえ、環境調査を行った。

多治見市の土岐川観察館や県河川砂防課の協力を得て、総合学習

川の生き物を捕まえる児童ら
瑞浪市北小田町の万尺川で



の時間に毎年五年生が調査を行っている。児童はタモを手川の中へ入り、草の周囲にいるカワムツやオイカワなどの魚、ミナミヌマエビやアメリカザリガニなどを捕まえた。

土岐川観察館の宮島弘佳館長は、児童が捕らえた生き物の種類が

ら「シジミがいるのは川に砂が増えてきた証拠」などと、身近な川の特徴を紹介。西尾楓さん(〇)は「川の水は少し汚かったけど、予想よりたくさん生き物が捕れた。エビが多かった」と話していた。

(田村あずみ)

平成20年7月2日(水) 中日新聞 東濃版
この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

魚やエビ捕まえたよ
瑞浪小児童 万尺川で環境調査

瑞浪市北小田町の瑞浪小学校の児童が一日、学校近くを流れる万尺川で環境調査を実施、魚やエビ、ヤゴなどを捕まえた。

身近な川にすむ生き物を観察することで、ふるさとの自然に興味

を付けてもらおうと、毎年行っている。参加したのは五年生ら約百四十人。土岐川観察館の宮島弘佳館長らの指導で川に入った児童らは、草の茂みにたもをあて、オシロウなどを次々と捕獲。容器に入れて観察していた。

ザリガニや小魚を捕まえた橋本美希さん(〇)は「こんなに多くの生き物があるって知らなかった。いっぱい捕れて楽しかった」と話していた。

(平田成範)

川にすむ生き物を捕まえる児童たち 瑞浪市北小田町、万尺川

平成20年7月2日(水) 岐阜新聞 東濃版
この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (多治見 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 武藤良幸、森田泰弘	内線	319
支援学校名	春日井市立上条小学校	Tel.	0572 - 68 - 4535
担当教員名	八木 先生		
対象学年	5年生 100名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4			
5			
6			
7	6月18日 ガサガサ探検隊(土岐川)	多治見市土岐川観察館	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	武藤良幸、森田泰弘	内 線	319
支援校名	春日井市立上条小学校	担当教員名	八木 先生	対象学年	

【事例概要】

7月 1日(火) 13:30～15:00

土岐川ガサガサ探検隊

場所：瑞浪市釜戸町

テーマ「水生生物の観察」

川の話进行こう

ガサガサ探検

【工夫した点、苦労した点】

調査箇所は生物が特別に豊富に生息しているといふこともなかったため、捕獲に苦労した。

【子供達の反応】

生徒は元気に楽しみながら魚を捕まえていた。魚の種類や生態についても関心が高い。

【学校関係者からの意見】

子供たちに河川環境と護岸について学ぶ良い機会になった。

【今後の課題・課題への提案】

生徒への説明にあたっては、分かりやすいように紙芝居や模型などを使って説明する工夫を検討していきたい。

【担当者として得たもの】

他県からの小学生であったが流域で考えた場合には大変有意義な総合学習だと思う。



【川の話进行こう】

川の生態や、ガサガサ探検の注意点等について解説しました。



【講評】

捕獲した魚を観察し、魚の名前や生態について講評しました。

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	櫻井 優一	内線	345
支援学校名	恵那市立中野方小学校	Tel.	0573-23-2004
担当教員名	平井 友昭先生		
対象学年	4年生11名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 恵那市	
5	5.18 恵那市企画部を通じて土木事務所に依頼。	【連携内容】	
6	6.6 中野方ダムにて実施。		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム管理事務所にて、ダムの役割の説明。 ・ 施設内の案内(取水塔、ポンプ室、提体内監査廊) 		
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

所 属	恵那土木事務所	氏 名	櫻井 優一	内 線	3 4 5
支援校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	平井先生	対象学年	4

【事例概要】
 多目的ダムとして建設された「中野方ダム」にて役割についての考察、施設見学を含めた総合学習。

【工夫した点、苦労した点】
 ダムの規模・効果を子供達の身近なものに置き換えて説明した。

【子供達の反応】
 ダムがあることは知っていてもその仕組みを知ることあまりなく興味を示していた。また、普段は入れない堤体内の見学も楽しんでた。

【学校関係者からの意見】
 次年度以降の継続要望。

【今後の課題・課題への提案】
 特になし

【担当者として得たもの】
 技術的なことを小学生の立場になって説明するスキル。



管理棟での説明



操作室見学



堤体見学

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 岡村 忠一	内線	0573-26-1111(344)
支援学校名	恵那市立岩邑小学校	Tel.	0573-43-2515
担当教員名	平林 先生		
対象学年	4年生 52名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 恵那市 (富田浄水場、 岩村浄化センター)	
5			
6	5月15日(木)岩村ダム見学会 (ダムの役割の説明、施設内の案内)		
7	6月11日(水)岩村川にて水生生物調査を実施。 (カワゲラウォッチング) 7月3日(木)岩邑小学校で水質検査を実施 (パックテスト)	【連携内容】 岩村ダム 富田浄水場 岩村浄化センターを見 学し水利用の一環を学 ぶ。	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 4
支援校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	平林先生	対象学年	4年生

【事例概要】

1. 岩村ダム見学会〔5月15日岩村ダム〕
土木事務所職員の案内によりダム内の施設（操作室、ダム堤体内）を見学し、ダムの機能仕組みについて4年生児童が学習した。
2. カワゲラウォッチング（水生生物調査）〔6月11日岩村川〕
岩村川で捕獲した水生生物の、名称、生息数の確認により、川の水質を判定した。
3. パックテスト〔7月3日岩邑小学校〕
河川水と、しょう油・牛乳等の希釈水の水質試験を実施し、水質を比較しながら、自然環境の大切さについて学ぶ。

【工夫した点、苦労した点】

監査廊内での見学時、水生生物調査時の児童の安全管理

【子供達の反応】

1. ダムの監査廊にも入ってもらい、子供たちは、元気よく発言し、ダム見学を楽しんでいました。
2. 水生生物調査では、川にたくさんの生き物がいることを知り、河川に対して親しみを持ったようである。

【学校関係者からの意見】

今回の学習をきっかけとして、岩村ダムに対する理解も深まると共に、岩村川の環境にも興味を持ち、環境を守ろうとする意識が育ってくれたと思う。

【今後の課題・課題への提案】

生徒に分かり易く説明出来るように、河川・環境等の知識を増やしていく。

【担当者として得たもの】

生徒と共に行動することにより「川の魅力」を再認識できた。



1. 岩村ダム見学会（操作室にて）



2. カワゲラウォッチング（水生生物調査）



3. パックテスト

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 4
支援校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	平林先生	対象学年	4 年生

【新聞記事等】

20年7月4日(金) 中日新聞 東濃版 この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

児童ら水質調査 環境保全を学ぶ
恵那市岩邑小
恵那市岩邑小学校で三日、四年生五十二人が岩村川の水などを使って水質調査に取り組んだ。身近な河川など

水質を調べ、環境保護の大切さを学ぶ総合学習の一環。指導したのは恵那土木事務所職員三人。職員と児童は近くを流れる岩村川の水と水道水のほか、千倍に薄めた牛乳としょうゆの計四種類を用意。「バックテスト」と呼ばれる簡易水質調査の

手法で、児童は試験薬を投じて化学的酸素要求量(COD)を調べた。職員は「地球には水がいっぱいあるが、塩分が混じった海水が大部分。飲み水になる淡水はほんのわずかしかない」などと、水の大切さを説明していた。(保母哲)

しょうゆを薄めるなどして水質を調べる児童ら＝恵那市岩邑小学校で

岩村川は「少し汚い」
恵那の4年生が生物から調べる
恵那市岩邑小
恵那市岩邑小学校で、四年生五十二人が、生物の授業で習った知識を使って、岩村川の水質を調べた。生物の授業で習った知識を使って、岩村川の水質を調べた。生物の授業で習った知識を使って、岩村川の水質を調べた。

20年6月12日(木) 中日新聞 東濃版
この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

利水や治水、役割学ぶ
岩小児童、岩村ダム見学
恵那市
恵那市岩村町、岩邑らんを防ぐ洪水調節、富田川の流水の確保、岩村町地区への水通用水の供給といった岩村ダムの役割について説明を受けた後、ダムの施設を見学した。ダム堤からダム湖や下流をのぞき込んで、その高さに驚声を上げたり、堤内部の管理用トンネル「監査廊」を覗き込んだりして、近にダムの仕組みを学んだ。(長瀬謙巳)

20年5月16日(金) 岐阜新聞 東濃版
この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 岡村 忠一	内線	0573-26-1111(344)
支援学校名	中津川市立付知北小学校	Tel.	0573-82-3029
担当教員名	小林 先生		
対象学年	4年生 23名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 中津川市環境課と連携	
5			
6		【連携内容】	
7	7月11日(金)付知川にて水生生物調査を実施。 (カワゲラウォッチング)	カワゲラウォッチングを実施するにあたり、指標生物に詳しい職員の派遣を依頼した。	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 4
支援校名	中津川市立付知北小学校	担当教員名	小林先生	対象学年	4年生

【事例概要】

1. カワゲラウォッチング (水生生物調査)

〔7月11日付知川〕

天候、流速、水温等を測定

指標生物の捕獲

指標生物の分類

各グループの代表者による発表

【工夫した点、苦労した点】

- ・カワゲラに関する知識が全く無かったため、児童の質問に十分答えられなかった。
- ・調査に必要な道具がそろっていなかったため中津川市に協力していただき、貸してもらった。

【子供達の反応】

- ・普段、川で遊ぶことが少ないためか、喜んで作業していた。
- ・指標生物とは関係ない魚に興味をしめしていた。

【学校関係者からの意見】

- ・付知川に入ることはあるのですが、川の生き物を観察することは少ないため、みな興味を持って川に入っていたように思います。そして、楽しく有意義な時間を過ごせました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・調査に必要な道具の購入
- ・指標生物の知識が必要 (カワゲラ博士養成講座の受講が必要)

【担当者として得たもの】

- ・指標生物の知識がなく、分類時に困ったため、今後経験を積み勉強していきたいと感じた。



指標生物の捕獲



指標生物の分類



指標生物の捕獲

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 4
支援校名	中津川市立付知北小学校	担当教員名	小林先生	対象学年	4 年生

【新聞記事等】

平成20年7月12日(土) 岐阜新聞 東濃版 この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

児童、付知川でカワゲラ観察

中津川市付知北小 中津川市付知町、付知北小学校の四年生二十三人が十一日、地元付知川でカワゲラウオッチングを行った。付知川は清流として知られるが、最近の子どもたちは学校にプールがあることもあってあまり川遊びをせず、身近な自然を体感しようとうオッチングが行われた。

県自然工法管理士の資格を持つ岡村忠一さんら三人の県恵那土木事務所職員が協力した。岡村さんらは、水質によってどんな生物がすむかを印刷した下敷きを児童にアレゼントし、水生生物の探し方を解説。一緒に浅瀬に入って石を動かし、裏に付いている虫類を確認していった。

見つかった虫はカワゲラ、ヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ、ウズムシなど、どれも五、

から二つほどの小さななるものばかり。児童もで、清流の指標どらは「川に入るのは久しぶり。生き物のことが分かって楽しかった」と話していた。

(森川洋)



浅瀬でカワゲラなどの水生昆虫を探す子どもたち＝中津川市付知町の付知川

H20・7・12(土) 岐阜

川の生き物調査 きれいな水確認

中津川・付知北小 中津川市付知北小学校の四年生二十三人が十一日、付知川の三角橋近くなどで「カワゲラウオッチング」をした。

川の生き物を見つけ、川の汚れ具合を調べる環境活動の一つで、恵那土木事務所が協力した。子どもたちは冷たい水にはしゃぎながら、裏に張り付いている生き物を採集した。

雨が続いたため水温が低く、収穫は少なめだったが、主にヒラタカゲロウをつかまえ、「きれいな水」に相当することを確認できた。子どもたちは「青川」とも呼ばれる付知川に愛着を深めた。

(山本哲正)



H20・7・12(土) 中日

平成20年7月12日(土) 中日新聞 東濃版
この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (恵那 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川担当 岡村 忠一	内線	0573-26-1111(344)
支援学校名	中津川市立付知南小学校	Tel.	0573-82-3073
担当教員名	工藤 先生		
対象学年	4年生 42名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4	6月16日(月)付知川にて水生生物調査を実施。 (カワゲラウォッチング)	【機関・団体名】 中津川市環境課と連携	
5			
6		【連携内容】 カワゲラウォッチングを実施するにあたり、指標生物に詳しい職員の派遣を依頼した。	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川担当	氏 名	岡村 忠一	内 線	3 4 4
支援校名	中津川市立付知南小学校	担当教員名	工藤先生	対象学年	4年生

【事例概要】

1. カワゲラウォッチング(水生生物調査)

〔6月16日付知川〕

天候、流速、水温等を測定

指標生物の捕獲

指標生物の分類

各グループの代表者による発表

【工夫した点、苦労した点】

- ・カワゲラに関する知識が全く無かったため、児童の質問に十分答えられなかった。
- ・調査に必要な道具がそろっていなかったため中津川市に協力していただき、貸してもらった。

【子供達の反応】

- ・普段、川で遊ぶことが少ないためか、喜んで作業していた。
- ・指標生物とは関係ない魚に興味をしめしていた。

【学校関係者からの意見】

- ・カワゲラウォッチングをとおして子供達が楽しんで川のことを知ることができた。

【今後の課題・課題への提案】

- ・調査に必要な道具の購入
- ・指標生物の知識が必要
(カワゲラ博士養成講座の受講が必要)

【担当者として得たもの】

- ・指標生物の知識がなく、分類時に困ったため、今後経験を積み勉強していきたいと感じた。



指標生物の捕獲



指標生物の捕獲



挨拶とカワゲラウォッチングの目的等の説明

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	伊藤 達也	内線	322
支援学校名	下呂市立小坂小学校	Tel.	0576-62-2724
担当教員名	池田 洋輔 先生		
対象学年	4年生 21名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5	5月21日(水) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。	・ 飛騨振興事務所 環境担当	
6	6月4日(水) 「山之口川 カワゲラウォッチング実施」	・ 下呂市環境課	
7		【連携内容】	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	伊藤 達也	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立小坂小学校	担当教員名	池田 先生	対象学年	4 年
<p>【事例概要】 6月4日 14:00～16:00 「カワゲラウォッチング」 山之口川で実施</p> <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川について、子供達にもわかるように説明を行いました。 図鑑を利用して、子供達と一緒に虫の判別を行った。 <p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また山之口川がきれいな川であることを認識できた様子であった。 <p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> カワゲラウォッチングは楽しんで川のことを知ることができよかった。 <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> 模型等使い、紹介するとより理解が深まると思う。 <p>【担当者として得たもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川に入り、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。 		 <p>「カワゲラウォッチング」 川の中に入って、水生生物を観察しました。</p>  <p>「カワゲラウォッチング」 水生生物を捕獲し、記録しました。</p>  <p>「河川について」 屋外にて、河川の紹介をしました。</p>			

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	片岡 孝仁	内線	322
支援学校名	下呂市立菅田小学校	Tel.	0576-33-2006
担当教員名	5年 尾方 誠司 先生 ・ 6年 高木 真子 先生		
対象学年	5・6年生 19名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 ・ 飛騨振興事務所 環境担当 ・ 下呂市環境課	
5	5月21日(水) 「下呂市環境課と打合せ」		
6	市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。	【連携内容】	
7	7月4日(金) 「菅田川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	片岡 孝仁	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立菅田小学校	担当教員名	尾方・高木先生	対象学年	5・6年
<p>【事例概要】 7月4日 10:30～11:00 「カワゲラウォッチング」 菅田川で実施</p> <p>同日 11:30～11:50 「砂防について」 パネルを使い砂防事業について説明</p> <p>【工夫した点、苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑を利用して、子供達と一緒に虫の判別を行った。 ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。 ・ パネルに絵を多く使い、目で見えてわかるようにした。 <p>【子供達の反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また菅田川がきれいな川であることを認識できた様子であった。 ・ 土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞いていた。 <p>【学校関係者からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カワゲラウォッチングは楽しんで川のことを知ることができよかった。今後も続けて欲しい。 ・ 砂防について、自分たちの住んでいる地域について子供達が知ることができてよかった。 <p>【今後の課題・課題への提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。 <p>【担当者として得たもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。 ・ 砂防については危険な箇所を地元の方に知らせる重要性を再認識できた。 			 <p>「カワゲラウォッチング」 川の中に入って、水生生物を観察しました。</p>  <p>「カワゲラウォッチング」 水生生物を捕獲し、記録しました。</p>  <p>「砂防について」 屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。</p>		

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	片岡 孝仁	内線	322
支援学校名	下呂市立竹原小学校	Tel.	0576-26-2027
担当教員名	奥原 美可子 先生		
対象学年	5年生 39名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】 ・ 飛騨振興事務所 環境担当 ・ 下呂市環境課	
5	5月21日(水) 「下呂市環境課と打合せ」		
6	市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。	【連携内容】	
7	7月16日(水) 「竹原川 カワゲラウォッチング・砂防事業説明実施」		
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	片岡 孝仁	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立竹原小学校	担当教員名	奥原先生	対象学年	5 年

【事例概要】

7月16日 14:30～15:30

「カワゲラウォッチング」

竹原川で実施

同日 15:40～15:50

「砂防について」

パネルを使い砂防事業について説明



「カワゲラウォッチング」
川の中に入って、水生生物を観察しました。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 図鑑を利用して、子供達と一緒に虫の判別を行った。
- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。



「カワゲラウォッチング」
水生生物を捕獲し、記録しました。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また竹原川がきれいな川であることを認識できた様子であった。
- ・ 小学校の近くで砂防事業を行っている箇所があるため、土石流の危険性やどのような場所が危険なのか真剣に聞いていた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ててよかった。
- ・ 近くで行われている砂防工事について聞くことができよかった。



「砂防について」
屋外にて、パネルを使って砂防の紹介をしました。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 模型等使い、河川・砂防について紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 砂防について、地元の方に知らせる重要性を再認識できた。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	伊藤 達也	内線	322
支援学校名	下呂市立小坂中学校	Tel.	0576-62-2067
担当教員名	熊崎 公司 先生		
対象学年	1年生 29名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5	5月21日(水) 「下呂市環境課と打合せ」 市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。	・ 飛騨振興事務所 環境担当	
6	6月11日(水) 「大洞・小坂・飛騨川 カワゲラウォッチング実施」	・ 下呂市環境課	
7		【連携内容】	
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	伊藤 達也	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立小坂中学校	担当教員名	熊崎 先生	対象学年	1 年

【事例概要】

6月11日 13:30～16:30
 「カワゲラウォッチング」
 大洞・小坂・飛驒川で実施

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 河川について、子供達にもわかるように説明を行いました。
- ・ 図鑑を利用して、子供達と一緒に虫の判別を行った。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることと、川によって流れの速さや住んでいる水性生物の違いなど特徴の違いについて認識できた様子であった。

【学校関係者からの意見】

- ・ カワゲラウォッチングは楽しんで川のことを知ることができてよかった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 模型等使い、紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川に入り、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。
- ・ 今回は本川（飛驒）と支川（大洞・小坂）を同日に観察したことから、川の特徴の違いについても学べました。



「カワゲラウォッチング」
 川の中に入って、水生生物を観察しました。



「カワゲラウォッチング」
 水生生物を捕獲し、記録しました。



「河川について」
 屋外にて、河川の紹介をしました。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	加藤 雅之	内線	322
支援学校名	下呂市立宮田小学校	Tel.	0576-55-0077
担当教員名	瀬木 先生		
対象学年	4年生 18名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
20/4			【機関・団体名】 ・ 下呂市水道事業課
5			
6	6月25日(水) 「宮田小学校と打合せ」 日時等について打合せする。		【連携内容】 宮田浄化センター見学
7	7月14日(月) 「大ヶ洞ダム見学会実施」		
8			
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	加藤 雅之	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市立宮田小学校	担当教員名	瀬木先生	対象学年	4 年

【事例概要】

7月14日 8:50~9:50

「大ヶ洞ダム見学会」

大ヶ洞ダムで実施

【工夫した点、苦労した点】

- ・ パネルを作成し、屋外でできるようにした。
- ・ パネルに絵を多く使い、目で見てわかるようにした。
- ・ 子供にも理解し易い言葉で説明した。

【子供達の反応】

- ・ ダム模型を使った実験では、小学校の上流にダムがない場合の危険性について認識できた様子であった。
- ・ ダムが生活用水の供給元として一役担っていることに驚きの様子であった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段の生活にダムが関わっていることについて、子供達が興味を持ててよかった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 子供達が楽しく理解できるよう、模型等を工夫することで、より理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ ダムの役割を知ってもらうことで、ダムが自分達の生活にどのように関わっているかが、実験等を通して理解してもらえたと思います。



「大ヶ洞ダム見学会」
ダムの概要・役割について説明しました。



「大ヶ洞ダム見学会」
ダム模型を使った実験をしました。



「大ヶ洞ダム見学会」
ダム堤体内の見学をしました。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	片岡 孝仁	内線	322
支援学校名	下呂市馬瀬地区	Tel.	0576-47-2111
担当教員名	野村 実		
対象学年	小学生・中学生 40名		
年月	タイムテーブル		学校以外の連携機関
20/4			<p>【機関・団体名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨振興事務所 環境担当 ・ 下呂市環境課 <p>【連携内容】</p>
5	5月21日(水) 「下呂市環境課と打合せ」		
6	市環境課のカワゲラウォッチング実施計画表により、土木との共催を依頼する。		
7			
8	8月1日(金) 「馬瀬川 カワゲラウォッチング実施」		
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	片岡 孝仁	内 線	3 2 2
支援校名	下呂市馬瀬地区	担当教員名	野村 実	対象学年	小中学生

【事例概要】

8月1日 8:30～11:30
 「カワゲラウォッチング」
 馬瀬川で実施
 3班(13名程度)に分かれ実施
 各班3箇所を実施した

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 河川について、子供達にもわかるように説明を行いました。
- ・ 虫について、子供達と一緒に判別できるよう図鑑を利用しました。
- ・ 川の特徴について、子供達に興味をもってもらえるように、水温、流速などを一緒に計測しました。

【子供達の反応】

- ・ カワゲラウォッチングでは、多くの水生生物が川の中に棲んでいることを知り、また馬瀬川がきれいな川であることを認識できた様子であった。

【学校関係者からの意見】

- ・ 普段遊んでいる川に棲んでいる生物について子供達が興味を持ってよかった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 模型等使い、紹介するとより理解が深まると思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 川の環境について、捕まえた虫をとおして子供達が興味を持ち、理解してもらえたようです。



「カワゲラウォッチング」
 川の中に入って、水生生物を観察しました。



「カワゲラウォッチング」
 水生生物を捕獲し、記録しました。



「カワゲラウォッチング」
 水生生物を捕獲し、記録しました。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	戸倉 高明	内線	323
支援学校名	下呂市立下呂中学校	Tel.	0576-52-3111
担当教員名	野尻先生		
対象学年	1年生 102人		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7			
8	8/7 理科教員対象の学習会実施後に総合学習の依頼		
9			
10			
11	11/13 下呂中学校にて打合せ 11/18 事前準備 11/19 総合学習実施		
12			
21/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	戸倉 高明	内 線	323
支援校名	下呂市立下呂中学校	担当教員名	野尻先生	対象学年	1年生

【事例概要】

～ 出前講座 ～

火山を学ぼう！御嶽山について知ろう！

1) 11月19日(水) 8:35～11:35 (50分×3回)

2) 中学1年生×3クラスを対象

3) 講座内容

- ・御嶽山と湯ヶ峰山について
- ・土砂災害と砂防について
- ・キッチン火山学(ゼリー火山の噴火実験等)

【工夫した点、苦労した点】

✚ 1回の講義の時間が短いため、ゼリー火山作成などの準備の時間が取れなかった。しかし、生徒自ら作成したかどうかで実験への意欲が変わると考え、前日から下呂中学校に伺い、生徒と共にゼリー火山の作成などを行った。

✚ ゼリー火山噴火実験を実施する際に、火山が噴火した場合の影響箇所を認識させるよう生徒や先生の自宅箇所について質問したりハザードマップと比較するよう促した。

【子供達の反応】

✚ キッチン火山学は身近なもので火山について学ぶことができ楽しかった。

✚ 火山が噴火している映像がすごかった。

✚ ゼリー火山がおいしかった。

【学校関係者からの意見】

✚ 理科の授業で火山について学んでいるため、復習の良い機会になった。また御嶽山・湯ヶ峰山という身近な火山を題材としていることから、授業内容と普段の生活とがリンクするため、良い経験になった。

✚ キッチン火山学は楽しく火山について学ぶことが出来るので、非常に良かった。

【今後の課題・課題への提案】

✚ 今回は理科授業と関連させて講座を実施したが、それ以外の地元住民や小学生などを対象とした資料があると汎用性が出てくる。

✚ キッチン火山学を実施する際に多少の不備があるので、実施方法や資材について検討する必要があり、現在模索中。

【担当者として得たもの】

✚ 実験を通して楽しく周知啓発活動が実施できるため、非常に有意義だった。



《御嶽山・湯ヶ峰山について、砂防について》
火山の成り立ちや近年の活動状況について学び、それに関連して砂防についても学びました。



《キッチン火山学 ゼリー火山の噴火実験》
ゼリーの御嶽山にコンデンスミルクを流し、ハザードマップのとおり流れるのか、自宅に影響があるかを確認しました。



《ゼリー火山の噴火実験終了後》
ゼリー火山の噴火実験終了後に御嶽山を美味しくいただきました。

所 属	河川砂防課	氏 名	戸倉 高明	内 線	323
支援校名	下呂市立下呂中学校	担当教員名	野尻先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】



平成 20 年 11 月 22 日(土) 岐阜新聞 飛騨版

この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (下呂 土木事務所)

土木事務所担当者名	戸倉 高明	内線	323
支援学校名	下呂市立小坂中学校	Tel.	0576-62-2067
担当教員名	熊崎先生		
対象学年	1年生 26名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4		【機関・団体名】	
5		【連携内容】	
6			
7			
8			
9			
10			
11	・おおよその日程確認		
12	・電話やメールによる内容調整		
21/1			
2	・最終打合せ(1/27) ・講演会事前準備(2/2) ・御嶽山火山防災講演会実施(2/3)		
3			

所 属	河川砂防課	氏 名	戸倉 高明	内 線	323
支援校名	下呂市立小坂中学校	担当教員名	熊崎先生	対象学年	1年生

【事例概要】

御嶽山火山防災講演会
 平成 21 年 2 月 3 日(火) 13:50~15:40
 講演「御嶽山の火山活動と防災」
 実験「キッチン火山」

【工夫した点、苦労した点】

- ✚ 前回の下呂中学校の出前講座の時と同様にキッチン火山で使うゼリー火山を前日に生徒と共に作成しました。
- ✚ 講演会の説明をより理解できるように事前資料を作成し配布しました。

【子供達の反応】

- ✚ 御嶽山は死火山だと思っていましたが、活火山であることを知り、びっくりしました。
- ✚ 御嶽山が大規模な噴火をしたら小坂は被害にあうことがわかったので、怖いと思いました。
- ✚ 御嶽山でも活動状況を観測していることがわかり安心しました。
- ✚ キッチン火山は楽しくて面白かったけど、実際に噴火したことを考えると怖くなりました。

【学校関係者からの意見】

- ✚ 教授の講演を聞くことはあまりないため、良い経験になりました。
- ✚ キッチン火山は楽しく火山現象を学べるし、生徒たちも喜んでいました。

【今後の課題・課題への提案】

- ✚ 火山噴火による被害の想定範囲は火口の位置や噴火の規模によって変わることがしっかり伝わってなかったので、要点をもう少し整理したほうが良いと思いました。
- ✚ 生徒たちが興味・疑問を持つような説明ができるといいと思いました。

【担当者として得たもの】

- ✚ 今回の講演会の感想文を読むと、伝えたいことがしっかりと伝わっていることがわかり、実施してよかったと思いました。



【木股教授による講演】

近年の御嶽火山の活動状況や観測機器に関する話を聞きました。



【キッチン火山の説明】

片栗粉で作る柱状節理とゼリー火山の噴火実験について話を聞きました。



【ゼリー火山の噴火実験】

ゼリーで作った火山にコンデンスミルクを流し、ハザードマップと同じように流れるか確認しました。

所 属	河川砂防課	氏 名	戸倉 高明	内 線	323
支援校名	下呂市立小坂中学校	担当教員名	熊崎先生	対象学年	1年生

【新聞記事等】

火山防災、理解深める

名大の木股教授招き 下呂市小坂中で講演会

下呂市小坂町長瀬の御岳の火山防災講演会が、一年生二十六人と国や県、市町村の防災担当者、地元NPO法人・飛騨小坂200滝関係者ら計約八十人が参加して開かれた。

同事務所では一九九三(平成五)年度から御岳の火山噴火警戒



中学生らが御岳の火山防災への理解を深めた講演会。下呂市小坂町長瀬、小坂中体育館。

避難対策事業として火山活動監視装置の設置やハザードマップの作成などを行っている。講演会はその一環で、火山教育の出前授業の応募に手を挙げた同校で初めて開いた。

講師は名古屋大学地震火山・防災研究センターの木股文昭教授。木股教授は、一九七九(昭和五十四)年と一昨年に発生した御岳噴火のメカニズムや当時の噴火状況、それに直近の浅間山噴火にも触れ、火山防災として設置してある観測機器についても説明し、火山防災への理解を促した。

(永井豪)

平成21年2月6日(金) 岐阜新聞 飛騨版
 この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

報告様式

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	河川砂防課 河川砂防担当 西岡幸宏・片野準也	Tel.	0577-33-1111(内線 382)
支援学校名	高山市立 清見小学校	Tel.	0577-68-2116
担当教員名	鳥内洋子 先生		
対象学年	4年生、23名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4	支援対象校を検討 <ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会飛騨教育事務所および高山市教育委員会へ、今年度、「川を題材とした総合的な学習の時間」に取り組む予定のある学校と、その具体的な内容について問い合わせ、支援対象校を検討。 	【機関・団体名】 <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県飛騨振興局環境課 (安田明弘主査) 高山市清見支所 	
5	5月22日(金) 学習支援内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> 清見小学校における今年度の総合学習の内容確認。 「カワゲラ・ウォッチング」を活動支援内容として決定。 観察場所、観察用具、安全管理、雨天時の対応等についての確認。 観察場所において、「カワゲラ」が確認できるか、土木事務所職員による事前調査を行うことを決定。 	【連携内容】 <ul style="list-style-type: none"> 全般 	
6	6月17日(火) 事前調査 <ul style="list-style-type: none"> 土木事務所職員にて、事前調査を実施。 調査結果および現地の状況を担任の先生へ報告。 それらを踏まえ、観察場所を決定。 		
7	7月4日(金) 支援活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 清見小学校4年生を対象に、川上川「中の島公園」にて「カワゲラ・ウォッチング」を実施。 		
8			
9			
10			
11			
12			
20/1			
2			
3			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	西岡幸宏・片野準也	内 線	3 8 2
支援校名	高山市立 清見小学校	担当教員名	鳥内洋子 先生	対象学年	4 年 生

【事例概要】

テーマ：「カワゲラ・ウォッチング」

日時：H20年7月4日(金)AM9:00～11:00

場所：川上川「中の島公園」(高山市内清見町福寄)

・ 清見小学校4年生を対象に、川上川にて、河川環境への意識啓発のために、川の生き物の観察を行った。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 事前に現地にて、指標生物の生息確認を行ったほか、水深や河床状態等を考慮し、子供が安全に行動でき、なおかつ、トイレが付近で利用できる観察エリアを選定した。
- ・ 担任の先生と相談し、観察場所の下流部においても、別途、職員で調査を行い、当日、観察場所と比較して、水質によって、住んでいる生き物たちが異なることを生徒に理解してもらえるように工夫した。
- ・ 安全管理のため、観察エリアの最下流、および班ごとに一人ずつ職員を配置し、サポートを行った。

【子供達の反応】

- ・ 最初は、体が小さく、色も目立たない底生生物を見つけることに苦労していたが、河床の石の裏に生き物がたくさん付いていることを発見し始めて、次第に歓声が上がった。
- ・ 「カワゲラ」がいて、「きれいな川」であると分かるのが、「不思議だった」という感想もあり、指標生物への興味を持ち始めた生徒も見られた。
- ・ 自分の足で「川」に入ることによって、「川」を汚してはいけない、という意識をもった生徒も多かった

【学校関係者からの意見】

- ・ 生徒たちが、楽しんで、川の生き物を観察できていたので良かった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 今回は「環境」の視点から、川について考えた授業だったが、今後は「治水」に関するテーマでの総合学習支援も、学校と相談しながら検討したい。

【担当者として得たもの】

- ・ 現地観察のほか、小学校では、「インターネット」を使って、川の生き物の学習も行っており、「見る」「触る」「調べる」をうまくリンクさせ、環境教育と情報教育を両立させている総合学習と感じた。今後の支援業務の参考としたい。



(川上川「中の島公園」にて)
川に足を入れると、「川の冷たさ」に驚いていた。川との触れ合いの第一歩。



(小さい生き物が動いているぞ?)
日常では、見ることが少ない生き物がたくさんいて、興味津々。



(観察を終えての感想)
「川には、いっぱい生き物がいたことが分かりました。」「きれいな川で良かった！」

報告様式

土木事務所名 (高山 土木事務所)

土木事務所担当者名	西岡幸宏・片野準也	内線	382
支援学校名	高山市立 宮中学校	Tel.	0577-53-2014
担当教員名	山本 先生		
対象学年	1年 21名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
20/4	<p>4月25日(金) 第一回打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高山市立宮中学校へ、「総合的な学習の時間」において、「砂防」に関する活動支援の実施について照会。 ・ 宮中学校1年生は、今年度が「自然」についての年間テーマとしていたことから、自然の「素晴らしさ・大切さ」のみならず、自然の「怖さ・人間による管理の重要性」を学ぶ視点も必要であり、「土砂災害」について実施する方向で検討。 	<p>【機関・団体名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし 	<p>【連携内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全般
5	<p>5月14日(金) 第二回打合せ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高山市立宮中学校 岩田教頭先生、山本教諭との事前打ち合わせを行った。 ・ 講義内容については、「土砂災害」をテーマとして、一之宮町での過去の災害や、危険区域を事例としながら、自然の怖さ、災害を防止するために自然を管理することの重要性などを学ぶことができる内容とすることに決定。また、講義に使用する教材の確認を行った。 		
6			
7			
8	<p>7月1日(火) 支援業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『土砂災害について』をテーマとして、高山市立宮中学校1年生21名の生徒を対象に講義(50分)を実施。 		
9			
10			
11			
12			
21/1			
2			
3			

所 属	高山土木事務所	氏 名	西岡幸宏・片野準也	内 線	3 8 2
支援校名	高山市立 宮中学校	担当教員名	山本 先生	対象学年	1 年

【事例概要】

テーマ：「土砂災害について」

日時：H20.7.1（火） AM11：35～12：25

場所：「宮中学校」 高山市一之宮町

宮中学校1年生の21名の生徒を対象に、教室にて、土砂災害について50分間の講義を行った。

【工夫した点、苦労した点】

- ・ 今年度、宮中学校1年生は、「総合的な学習の時間」において、「宮のふるさとを知る」を年間のテーマとしてプログラムが組まれており、そのテーマとの関連性を持たせながら、土砂災害に関する支援業務の内容を検討した。
- ・ 高山市一之宮町では、昭和63年に、実際に「地すべり」が『石原地区』において起きている地域であり、郷土の災害史に触れながら、土砂災害についての知識を得られるように講義資料を作成した。
- ・ 中学生の日常生活では、あまり目に触れることのない「砂防施設」について、少しでも興味を持ってもらえるように、説明を行った。

【子供達の反応】

- ・ 土石流がとても早いスピードで流れることに驚いた。また人命にも関わることが分かった。
- ・ 一之宮町は、山が多く、土砂災害の危険性が高いところだと分かったので、日頃の災害に対する備えが必要だと感じた。

【学校関係者からの意見】

- ・ 地域の災害の歴史等を取り入れながら、土砂災害について知ることができて、参考になった。
- ・ 災害に係わる方から、直接説明を受けることがなかなかできないので、今回の話は、興味深く、理解が深まった。

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 今回は、時間が50分と限られていたことから、教室内での講義のみとなったが、できれば砂防施設の現場や、土砂災害の恐れのある危険区域を実際に見ることができれば、もっと生徒の理解が深まったと思う。

【担当者として得たもの】

- ・ 土砂災害について、中学生にも理解できる内容で説明することに、若干不安を感じたが、50分の講義をしっかりと聞いてもらい、的確に理解してもらえたので、「義務教育」における「土木教育」の実施について、少し自信を持つことができました。



(土砂災害に関する概要説明)

一之宮町の現場を事例に、スライドにて写真やイラストを用いて視覚的に理解できるように説明。



(土砂災害に関するビデオ上映)

土石流やがけ崩れ、地すべりの被災映像や、それを防止する砂防の役割についてビデオを視聴。



(授業の終わりに生徒の感想を聞いて)

今回の支援業務によって、土砂災害の恐ろしさについて、生徒一人ひとりが感じてもらい、防災意識を持つ「きっかけ」のひとつとなったと思う。

報告様式

土木事務所名 (古川 土木事務所)

土木事務所担当者名	麻生貴秀	内線	0577-73-2911 内 2263
支援学校名	飛騨市立 古川西小学校	Tel.	0577-73-2229(代)
担当教員名	田中教諭		
対象学年	4年生 56名		
年月	タイムテーブル	学校以外の連携機関	
H20 4月		【機関・団体名】 飛騨市役所	
5月		【連携内容】 人員応援	
6月	6/23 事前打合せ		
7月	7/11 カワゲラウォッチング(4年生対象)		
8月			
9月	9/10 COD 試験 パックテスト水質調査(4年生対象)		
10月	10/1 「水と生活」をテーマに講義(4年生対象) 10/3 「砂防えん堤と私たちの生活」をテーマに講義と実験(4年生対象)		
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	岩田憲三・麻生貴秀 土川秀樹・服部洋介	内 線	2263
支援校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	田中教諭	対象学年	4年生

【事例概要】 - 「砂防えん堤と私たちの生活」講義

・ 「水」は私たちの生活に深く関わりのある存在であり、「水」のおかげで豊かな暮らしが実現している。しかし時に「水」は猛威を振るい私たちの生活を脅かす存在でもある。その両面を理解し、私たちの生活を守るために「砂防施設」があるということを知ったうえで、実際に屋外で砂防施設の実験を行う。(別紙指導案参照)
 日時:H20.10.03 13:50~14:35
 場所:古川西小学校



【工夫した点、苦労した点】

- ・ 砂防えん堤の効果を確認できるように砂防えん堤(100分の1)を製作し、実験をすることができた。
- ・ 「水と生活」というテーマから土石流や砂防といったところまでのストーリー(指導案)を作成した。

授業状況

【子供達の反応】

- ・ 砂防えん堤の有無によってこれだけ被害に差があるということを目で見て感じる事が出来たと思う。



【学校関係者からの意見】

- ・ 素晴らしい実験装置で、リアルで子供たちには印象的だったと思う。
- ・ 私たちにはここまでのことは出来ないので感謝している。
- ・ 本校だけではもったいないので、是非他校の子にも見せてやってほしい。
- ・ 前時とうまくつながった内容だった。

砂防実験(砂防えん堤) S=1/100

【今後の課題・課題への提案】

- ・ 当学校には模型を作れる場所(小さな山)があったため今回の実験が出来たが、他校でもこのような実験が出来るような工夫が必要である。

【担当者として得たもの】

- ・ 室内での授業で「砂防えん堤」を唱えても児童達にとっては理解が難しいものだと思うが、実験によって砂防えん堤の必要性や重要性を理解できたことは良かった。



土石流被害状況

本時のねらい

平成 11 年 9 月 15 日に発生した豪雨災害は私たちに甚大な被害をもたらした。その経験をもとに、次々と建設された「砂防堰堤」が何故必要なのかを疑問に思い、考え、知ることで砂防堰堤と私たちの生活が密着したものであることを理解する。また過去の被災時の写真と現在の写真を比較することで、その違いを見つけ、砂防堰堤の必要性和私たちの生活を守るためにとても重要な施設であることを理解し、実際に屋外で実験を行いその効果を確認する。

本時の展開 (2 / 2) T1:(田中先生) T2:(麻生)

過程	学習活動	指導・援助
み つ け る	<p>1 過去の写真と現在の写真とを比較(T1)</p> <p>平成 11 年に被害を受けた場所の写真と、同じアングルで撮った現在の状況を比較しどこが違うのかを見つける。【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路が流されて川になっているなあ。 家の 1 階部分くらいまで水の跡があるよ。 川がすごく濁っているよ。 <p>どうして大雨が降ると、川が氾濫し、道路や民家まで水が押し寄せてくるのだろう。川を氾濫しないようにするにはどうしたらいいのだろう??</p>	<p>水の力の恐ろしさ、水の力によって家や道路が壊されていることに気付かせるようにする。</p> <p>被災前後の写真で、「水」は時には「怖い」存在だというこということをわかってもらう。加えて、水は人の生活には不可欠なものだということにも追究。</p> <p>話し合いや意見を盛り上げるために、その他の災害の写真(山崩れ・流木の堆積・土砂や木々が橋に詰まっている状況)[資料]などを児童に見せることで、イメージを膨らませ、災害の原因となる要素を予想しやすくするように導く。</p>
考 え る	<p>2 疑問について、意見を交わす。(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の大きさよりたくさん雨が降ったから水が溢れるのかな。 雨がたくさん降ると、山が崩れてそれが一度に流れてくるからかな。 雨が一度に降らなければ、川は氾濫しないよね。 水と一緒に大きな石や、木も流れてくるから川や道路が壊れるのかな。 	<p>大雨の時の土石流を抑制する働きとして「砂防堰堤」があるということを理解してもらう。</p> <p>砂防堰堤があることによって、[資料]のような被害が起こらないようにしていることに気付かせるようにする。</p>
知 る	<p>3 どうしたら災害を防ぐことができるかを追究していく。(T2)</p> <p>児童からの意見をもとに、昔の人はどうやって家や川を守ってきたのか。その方法のひとつとして「砂防堰堤」があることをわかってもらう。砂防堰堤にも種類があり、それぞれに意味があり効果も違うことを追究する。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 堰堤 [不透過型]・・・土石流の土砂を食い止め、その後は少しずつ下流に土砂を流す役割 堰堤 [透過型]・・・通常は土砂を流し、土石流時は土砂と流木を食い止める役割 <p>堰堤には種類があることに触れ、そうした堰堤が児童の家の身の回りにいくつも点在していることに興味をもたせる。[資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> 家の裏にたくさんの堰堤があるよ。 僕、その堰堤見たことあるよ。 	<p>大雨の時の土石流を抑制する働きとして「砂防堰堤」があるということを理解してもらう。</p> <p>砂防堰堤があることによって、[資料]のような被害が起こらないようにしていることに気付かせるようにする。</p> <p>[資料]の写真を見せることで、砂防えん堤に興味を持たせる。</p> <p>飛騨市・・・178 基</p>
確 か め る	<p>4 砂防えん堤の効果を確認する。(T2)</p> <p>実際に外へ行き、砂防えん堤がない場合と砂防えん堤がある場合とで比較をする。</p> <p>同じような形状の河川を 2 河川再現し、バケツの水を一気に上流が流し込む。</p> <p>[砂防施設がない場合]・・・上流の土砂と共に下流側の家や橋、車を飲み込む。(大災害)</p> <p>[砂防施設がある場合]・・・上流の土砂がえん堤で食い止められ下流は安全。(安心)</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防えん堤ってすごいなあ。 同じ水の量でもえん堤のおかげで全く家が壊れないんだね。 <p>普段何気なく「砂防えん堤」を目にするけど、それが何のためにあるのか分からなかった。でも、実験を通して私たちが安全に生活するために大切なものだということが分かったね。</p>	<p>砂防えん堤の効果を実際に見せることで、施設の必要性を気付かせる。</p>

所 属	河川砂防課 河川砂防担当	氏 名	麻生貴秀	内 線	2263
支援校名	飛騨市立 古川西小学校	担当教員名	田中教諭	対象学年	4年生

【新聞記事等】



平成20年10月4日(土) 岐阜新聞 飛騨版 この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています。

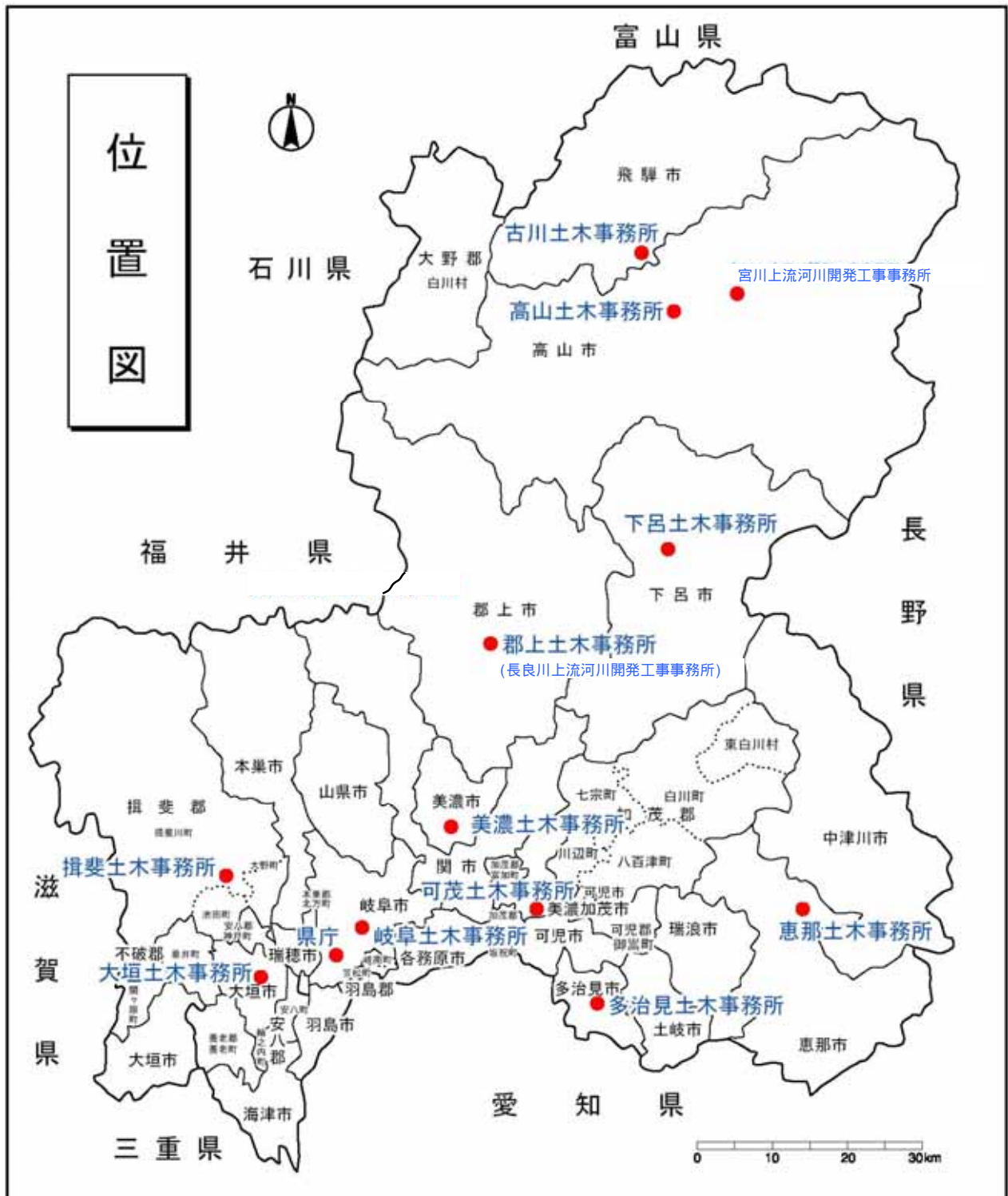


平成20年10月10日(金) 中日新聞 飛騨版 この記事は、中日新聞社の許諾を得て転載しています。

支援窓口一覽表

岐阜県管内図

平成21年3月31日現在



平成21年3月31日現在

所属	課、担当	TEL FAX	所管市町村名	所在地
県土整備部	河川課	058-272-1111 058-278-2753	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
県土整備部	砂防課	058-272-1111 058-278-2755	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-264-1111	岐阜市(北部)、山県市、瑞穂市、本巣市、北方町	〒500-8708 岐阜市司町1 岐阜総合庁舎内
	河川砂防課 河川第二担当	-----	岐阜市(南部)、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町	
	河川砂防課 砂防担当	058-264-8087	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町	
大垣土木事務所	河川砂防課 河川担当	0584-73-1111	大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0584-82-4960		
揖斐土木事務所	河川砂防課	0585-23-1111	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
	河川砂防担当	0585-23-1105		
美濃土木事務所	河川砂防課 河川担当	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0575-33-4901		
郡上土木事務所	河川砂防課	0575-67-1111	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内
	河川砂防担当	0575-65-4966		
可茂土木事務所	河川砂防課	0574-25-3111	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井 2610-1 可茂総合庁舎内
	河川砂防担当	0574-25-0355		
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-23-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-25-7224		
恵那土木事務所	河川砂防課 河川担当	0573-26-1111	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 恵那総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0572-26-0417		
下呂土木事務所	河川砂防課	0576-52-3111	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
	河川砂防担当	0576-52-1948		
高山土木事務所	河川砂防課	0577-33-1111	高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防担当	-----		
	河川砂防課 災害復旧担当	0577-33-1086		
古川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村)	〒509-4263 飛騨市古川町上野617-1
	河川砂防担当	0577-73-3346		

所属	課、担当	TEL FAX	所管市町村名	所在地
県土整備部	河川課	058-272-1111 058-278-2753	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
県土整備部	砂防課	058-272-1111 058-278-2755	県下全域	〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁内
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一担当	058-264-1111	岐阜市(北部)、山県市、瑞穂市、本巣市、北方町	〒500-8708 岐阜市司町1 岐阜総合庁舎内
	河川砂防課 河川第二担当	-----	岐阜市(南部)、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町	
	河川砂防課 砂防担当	058-264-8087	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町	
大垣土木事務所	河川砂防課 河川担当	0584-73-1111	大垣市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、安八町、輪之内町、海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0584-82-4960		
揖斐土木事務所	河川砂防課 河川砂防担当	0585-23-1111 0585-23-1105	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内
美濃土木事務所	河川砂防課 河川担当	0575-33-4011	関市、美濃市	〒501-3756美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0575-33-4901		
郡上土木事務所	河川砂防課 河川砂防担当	0575-67-1111 0575-65-4966	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内
可茂土木事務所	河川砂防課 河川砂防担当	0574-25-3111 0574-25-0355	美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村、御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井 2610-1 可茂総合庁舎内
多治見土木事務所	河川砂防課	0572-23-1111	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内
	河川砂防担当	0572-25-7224		
恵那土木事務所	河川砂防課 河川担当	0573-26-1111	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 恵那総合庁舎内
	河川砂防課 砂防担当	0572-26-0417		
下呂土木事務所	河川砂防課 河川砂防担当	0576-52-3111 0576-52-1948	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内
高山土木事務所	河川砂防課 河川砂防担当	0577-33-1111	高山市(旧国府町、上宝村を除く)、白川村	〒506-8688 高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内
	河川砂防課 災害復旧担当	0577-33-1086		
古川土木事務所	河川砂防課	0577-73-2911	飛騨市、高山市(旧国府町、上宝村)	〒509-4263 飛騨市古川町上野617-1
	河川砂防担当	0577-73-3346		

平成20年度版 川を題材とした
総合的な学習の時間活動事例集

平成21年3月発行

編集・発行 岐阜県県土整備部河川課・砂防課

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

T E L 058-272-1111 (代表)

F A X 058-278-2753 (河川課)

U R L <http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/s11652/>

M A I L c11652@pref.gifu.lg.jp (河川課)

協 賛 岐 阜 県 河 川 協 会
岐 阜 県 砂 防 協 会